

日医総研ワーキングペーパー

病院経営における看護職員の活用についての調査

- 中間報告 -

No . 114

平成 17 年 4 月 26 日

日本医師会総合政策研究機構

福岡県医師会

福岡県庁 1 階 センター-保健・医療・福祉研究機構

まえがき

病院の看護業務は主として看護師、准看護師によって支えられている。准看護師はそもそも中学校卒業で取得できる資格として創設されたが、現在では中卒学歴で准看護師養成所に入学する生徒はわずかである。年齢や学歴に明らかな差がなくなった上、人事制度が年功序列から能力主義、成果主義へ転換しつつあることもあり、病院経営者は看護師・准看護師の活用と評価に頭を悩ませるようになってきた。

また一方で、日本看護協会が准看護師制度の廃止を主張していることから、病院経営者には、准看護師をいつまで戦力として雇用できるのかという不安もある。

看護職員の雇用、活用、評価については、病院経営者が手探りで取り組んでおり、参考になるエビデンスがない。そこで、まずは病院経営者にとってベンチマークとなる材料を提供することを目的に「看護師・准看護師の雇用に関するアンケート」を企画した。本調査は、「病院長アンケート」「看護部長アンケート」「看護師・准看護師アンケート」から構成されている。このうち、2004年度には「病院長アンケート」「看護部長アンケート」を実施したので、中間報告という形で、本報告書に結果の概要をまとめた。2005年度に行う「看護師・准看護師アンケート」と合わせて、今後、最終報告を行う予定である。

中間報告という位置づけではあるが、病院の性格（例えば急性期か慢性期か）によって看護師・准看護師の活用や評価に違いがあること、業務内容によっては看護師と准看護師の能力差が目立つものがあることなども明らかになっている。現状の分析が、病院経営者の何らかの参考になれば幸いである。

なお、本調査にあたって、福岡県下の病院にアンケート調査にご協力いただき、かつ高い回答率を得ることができた。あらためてここで感謝したい。

2005年4月

日本医師会総合政策研究機構 原 祐一（委託研究員）
前田由美子（主席研究員）

福岡県医師会

福岡県メディカルセンター保健・医療・福祉研究機構

（五十音順）

| |
|----|
| 目次 |
|----|

．調査の目的と方法

| | |
|------|---|
| 1．目的 | 1 |
| 2．方法 | 1 |

．看護師・准看護師の雇用に関するアンケート調査結果

| | |
|--------------------|----|
| 1．病院のプロファイル | 3 |
| 2．職員の状況 | |
| （1）職員数 | 7 |
| （2）看護師長・主任の配置および資格 | 10 |
| 3．看護師と准看護師の差 | |
| （1）採用枠の区分 | 13 |
| （2）待遇 | 15 |
| （3）能力 | 19 |
| （4）自己啓発意欲 | 23 |
| （5）准看護師資格の存続について | 24 |
| 4．看護部長のプロファイルとキャリア | |
| （1）プロファイル | 25 |
| （2）キャリアパス | 26 |
| （3）マネジメント | 30 |
| 5．まとめ | 32 |

| | |
|-------|----|
| ．参考資料 | 37 |
|-------|----|

| | |
|-----|----------|
| 調査票 | 調査票 1～12 |
| 集計表 | 集計表 1～23 |

. 調査の目的と方法

1 . 目的

戦後の看護師資格は保健婦看護婦法（現保健師助産師看護師法）によって規定されてきた。1947年当時は、甲種看護婦、乙種看護婦に区分され、1951年には准看護婦（現准看護師）制度が創設された。

中学校卒業で資格を取れる准看護師は、1970年代には看護師数を上回っていたが、2003年には看護師：准看護師 = 1 : 0.55 にまで減少し、准看護師養成所における中学卒業生比率も 3.6% となった¹。現場の看護師、准看護師の看護師養成所等入学前学歴には差がなくなってきたのである。

折りしも医業経営においては人事制度改革が進められつつあり、従来の年功序列の給与体系を脱却し、能力や成果で評価する方向に向かっている。医師のみならず看護職も例外ではない。病院経営者は、資格こそ明確に異なるものの、年齢や学歴に差がなくなってきた看護師・准看護師の活用、評価、処遇に頭を悩ませている。

他方、日本看護協会は早くから准看護師育成制度の廃止を主張しており、病院経営者から見れば、准看護師をいつまで戦力として期待できるのかという不安もある。

こういったことに関して、病院経営者が他の病院の実態を垣間見る機会はほとんどなく、個々に手探りで進むしかないのが実情である。

そこで、病院経営者に、病院が看護師・准看護師をどう活用し、どのように評価し、さらに将来にどのような期待を寄せているか、その実態のベンチマークを提示することを目的にアンケート調査を実施することとした。

2 . 方法

次の三部構成からなるアンケートを作成し、2005年1月に「病院長アンケート」、「看護部長アンケート」を実施した。「看護師・准看護師アンケート」は、2005年度上期中に行う予定である。

第1部 病院長アンケート

・准看護師の採用希望

¹ 日本看護協会出版会「平成15年 看護関係統計資料集」より

- ・看護師と准看護師間の待遇の差、能力の差

- ・准看護師資格の存続

第2部 看護部長アンケート

- ・属性（年齢、性別、資格）

- ・キャリアパス（学歴、勤続年数、転職回数、転職および退職の理由）

- ・看護師と准看護師間の待遇の差、能力の差

- ・准看護師資格の存続

- ・部下のマネジメント、能力開発

第3部 看護師・准看護師アンケート

- ・属性（年齢、性別、資格、出身地域および就業地域）

- ・キャリアパス（学歴、勤続年数、転職回数、転職および退職の理由）

- ・看護師と准看護師間の業務の差、待遇の差

- ・准看護師資格の存続

- ・能力開発への取り組み

2005年1月、(社)福岡県医師会より、福岡県下のすべての病院(482病院)に「看護師・准看護師の雇用に関するアンケート調査票」(「病院長アンケート」「看護部長アンケート」)を郵送した(調査票は巻末参照)。病院長305病院、看護部長299病院から返送があり、回答率は病院長63.3%、看護部長62.0%であった。

なお、病院のタイプにより看護職の業務内容や求められる人材が異なるのではないかとこの仮説にもとづき、便宜的に以下のように区分して分析を行った。

精神病院・・・精神病院

療養病院・・・精神病院以外で療養病床の比率が60%以上の病院

一般病院・・・精神病院以外で療養病床の比率が60%未満の病院

・看護師・准看護師の雇用に関するアンケート調査結果

1. 病院のプロファイル

我々²は2004年3月、福岡県下の病院を対象に「病院の人事・組織に関するアンケート調査」³（以下、前回調査と呼ぶ）を実施し、このとき今回の調査と同様、病院属性について質問した。前回調査と今回調査は定点調査ではなく、また本分析の論点に直接的に関係しない部分もあるが、病院が変化しつつあることを示す傾向が見られたので、以下、参考までに前回調査と対比して示す。

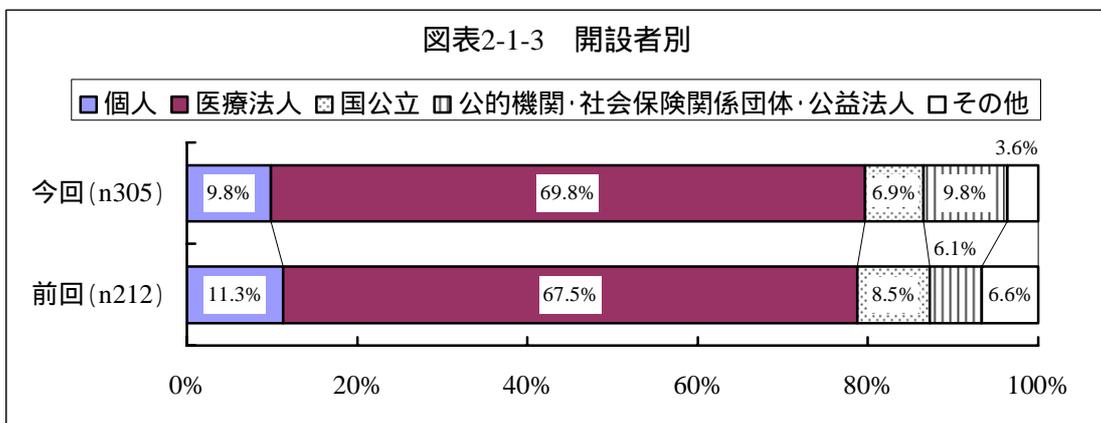
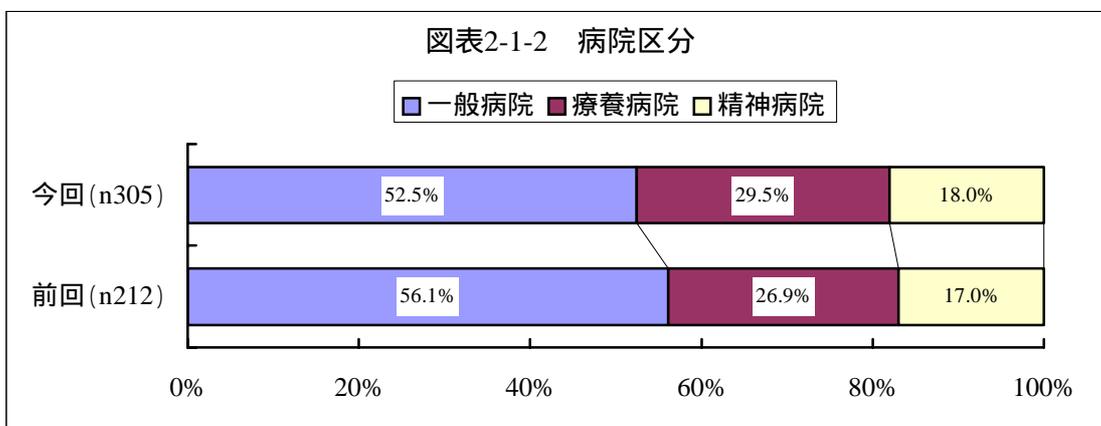
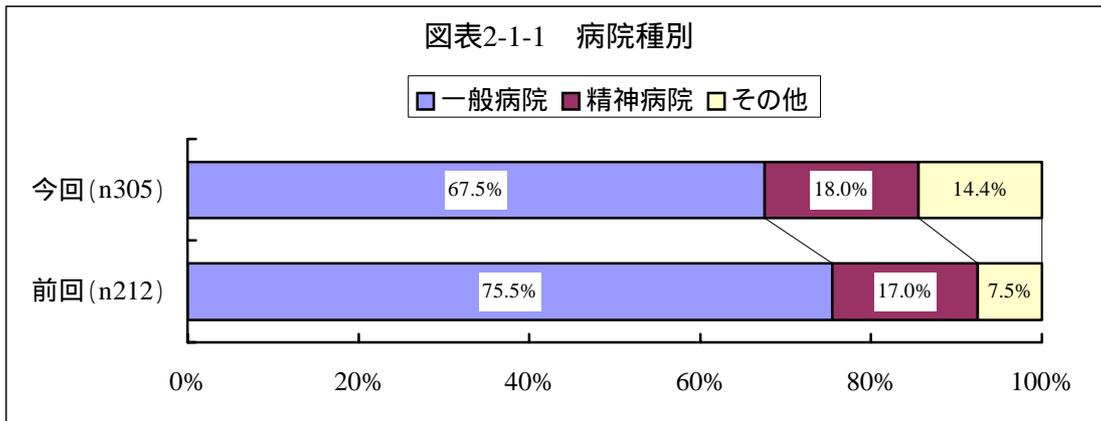
病院種別は、今回の調査では、一般病院 67.5%、精神病院 18.0%、その他 14.4%であった。前回調査に比べ「その他」を選んだ病院が増加している。「その他」の中には、「介護支援型医療施設」「特定疾患療養病床」などと記載されているものがあった。厚生労働省「病院報告」上の区分は、精神病院、結核療養所、一般病院であり、介護支援型医療施設や特定疾患療養病床も制度上はこれらのいずれかに該当するが、これを「その他」として選択したということは、病院長がこれらの病床が従来の区分に収まりきらないことを強く認識していることの現われかと推察される。

病床比率によって分類した病院区分は、一般病院 52.5%、療養病院 29.5%、精神病院 18.0%であり、前回調査に比べて療養病院の拡大が見られた。

開設者別構成比は前回調査と今回調査を比べて、大きな変化はなかった。若干、個人が減少し、医療法人の比率が高まっているが、これは個人病院の法人化が進んでいるためと推察される。

² 前田由美子（日医総研主席研究員）、原祐一（日医総研委託研究員）、福岡県メディカルセンター-保健・医療・福祉研究機構、福岡県医師会

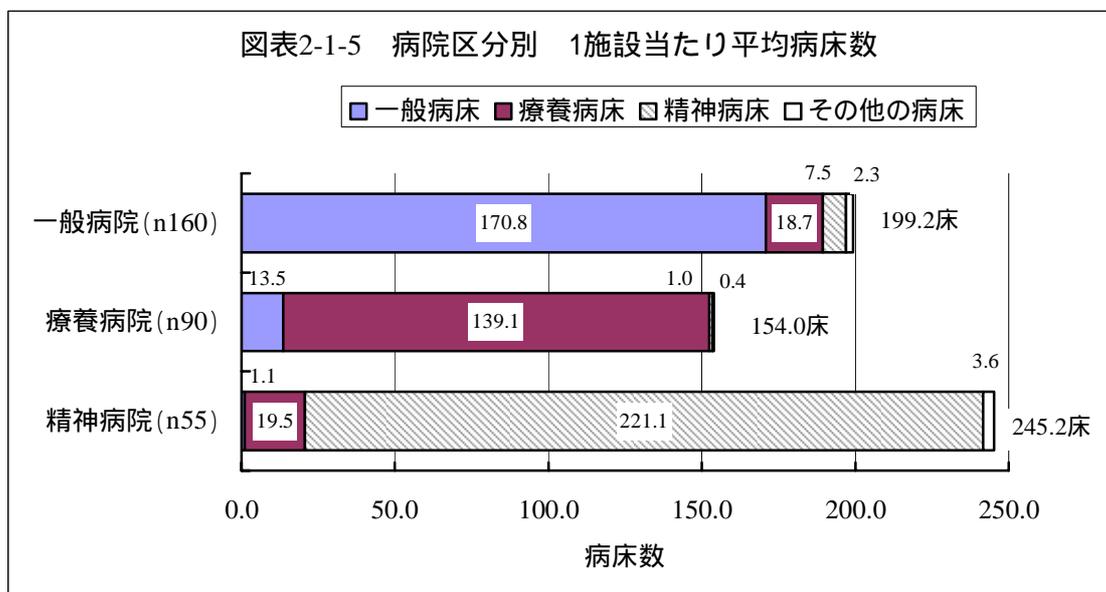
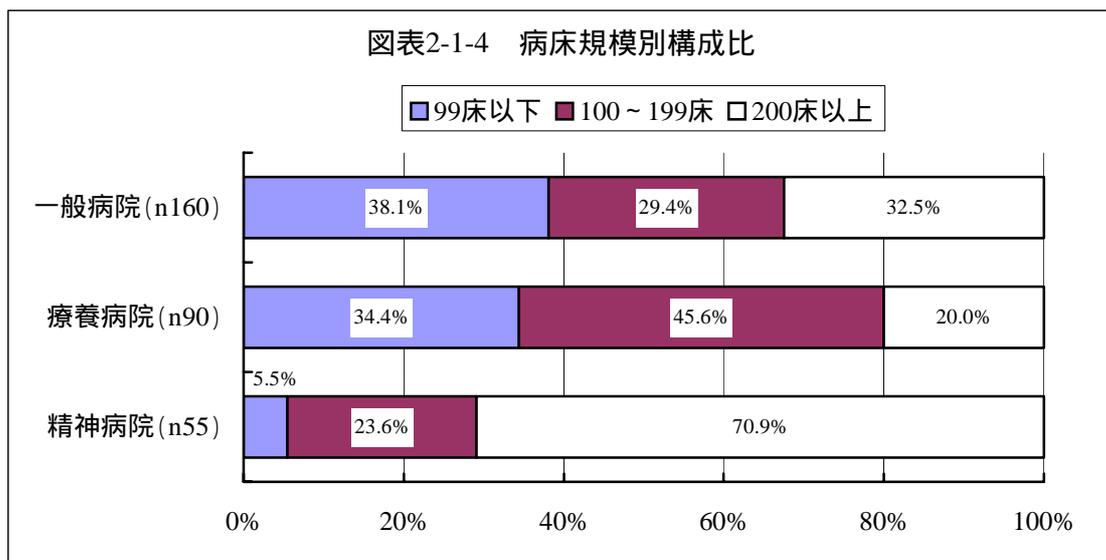
³ 調査結果は、「病院経営マネジメント「人事制度の現状と課題 - 人事制度改革にむけて - 」」日本医師会総合政策研究機構、福岡県メディカルセンター-保健・医療・福祉研究機構、福岡県医師会、2004年3月



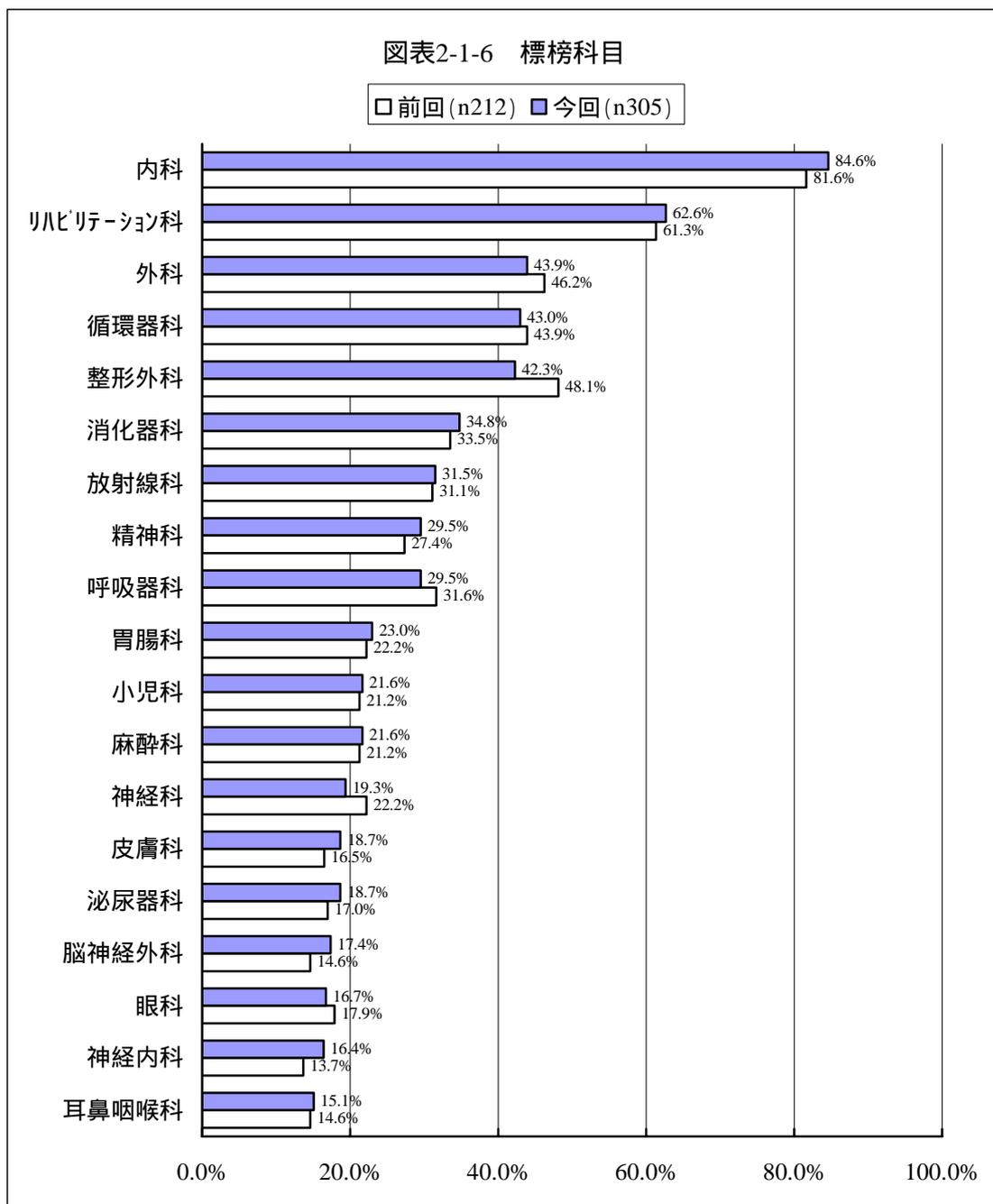
*病院種別は回答されてきたものそのまま。病院区分は病床種類別の比率から計算したもの。従って、一般病院という回答であっても、療養病床 60% 以上の場合は療養病院に分類されている。

病床規模別では、精神病院で 200 床以上という病院が 70.9%であった。逆に療養病院では 200 床未満の病院が 80.0%を占めている。

一般病院の平均病床数は 199.2 床であり、うち一般病床が 170.8 床（85.7%）であった。療養病院の平均病床数は 154.0 床であり、うち療養病床が 139.1 床（90.3%）であった。精神病院の平均病床数は 245.2 床であった。



標榜科目では内科 84.6%、リハビリテーション科 62.6%等であった。定点観測ではないので単純な比較はできないが、前回調査に比べると、内科が 3.0 ポイント、脳神経外科が 2.8 ポイント、神経内科が 2.7 ポイント上昇した。整形外科は前回比 5.8 ポイント減少した。



*構成比 15%以上の科目を示した。詳細は巻末集計表に掲げた。

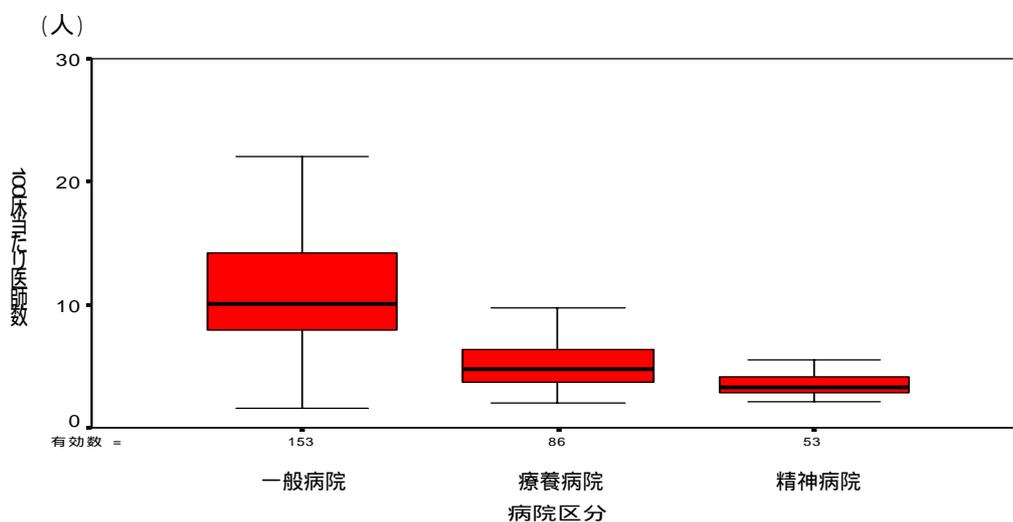
*「皮膚科」「泌尿器科」のほか「皮膚泌尿器科」を標榜する病院が 1.6%ある。

2. 職員の状況

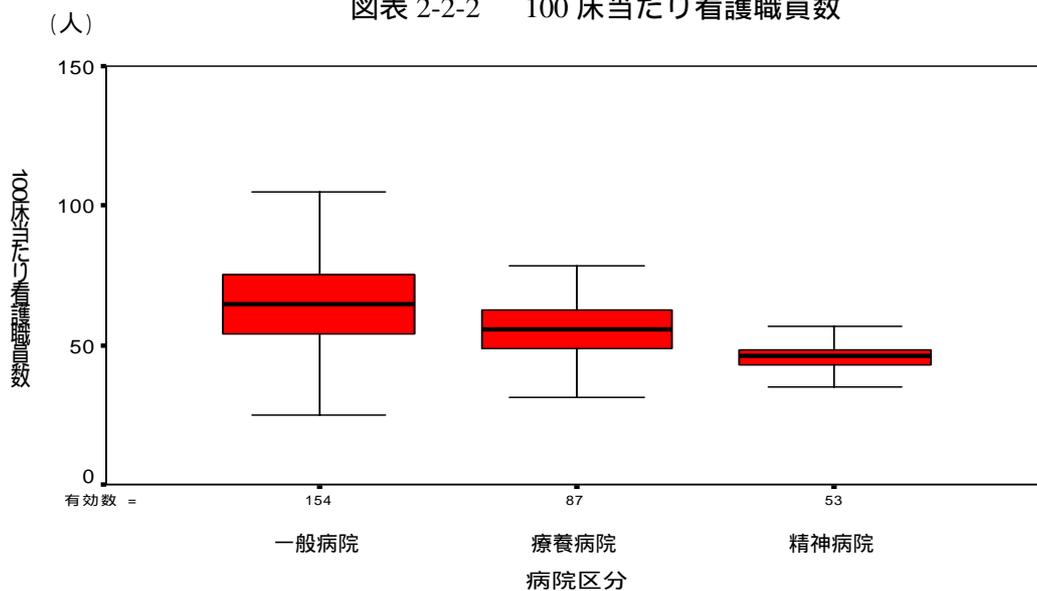
(1) 職員数

100床当たり医師数は、一般病院 13.0人、療養病院 5.5人、精神病院 4.0人であった。100床当たり看護職員（看護師・准看護師・看護補助者の合計）数は、一般病院 66.6人、療養病院 57.2人、精神病院 46.8人であった。看護職員1人当たりの病床数は、一般病院 1.5床、療養病院 1.7床、精神病院 2.1床であった。

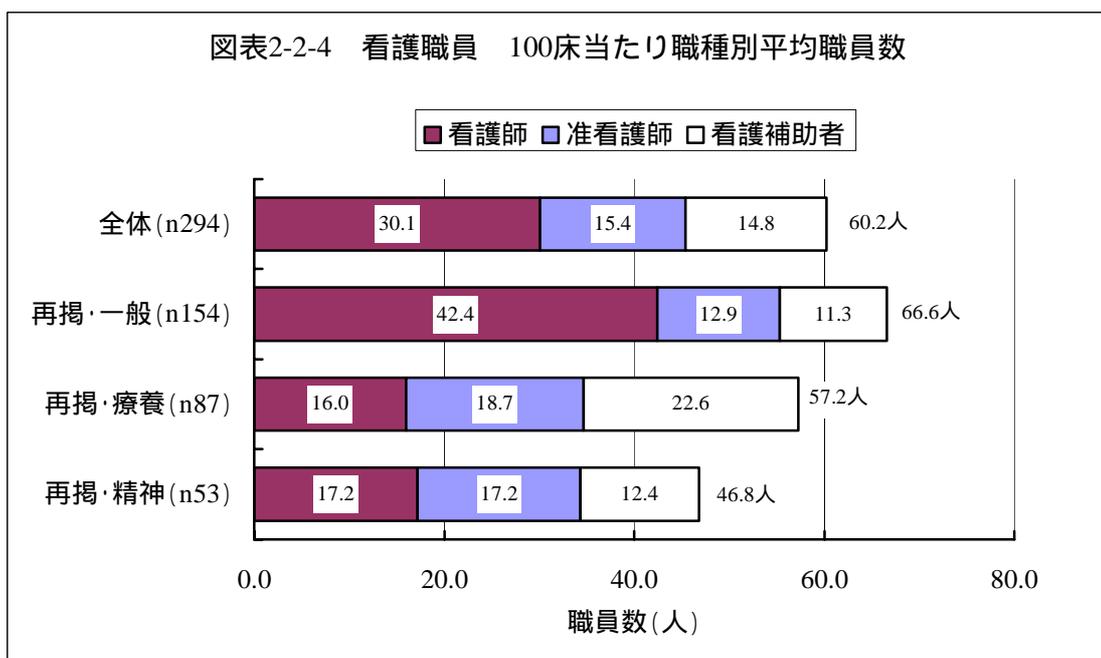
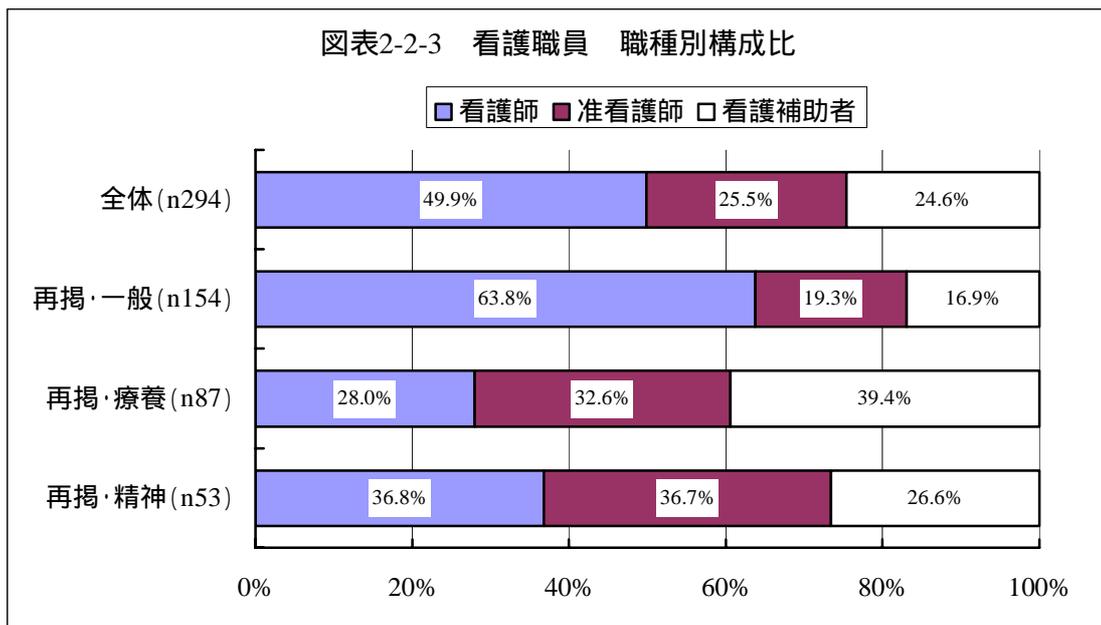
図表 2-2-1 100床当たり医師数



図表 2-2-2 100床当たり看護職員数

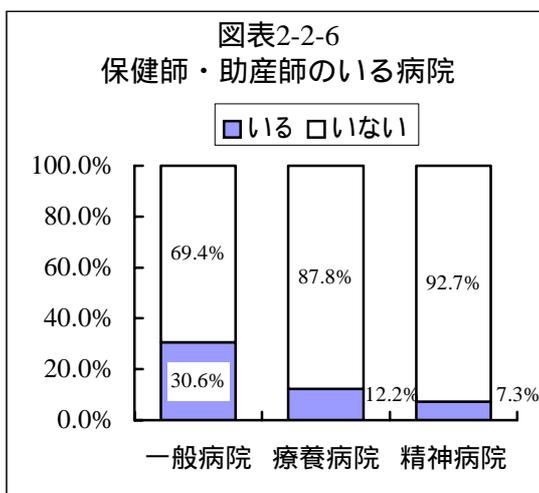
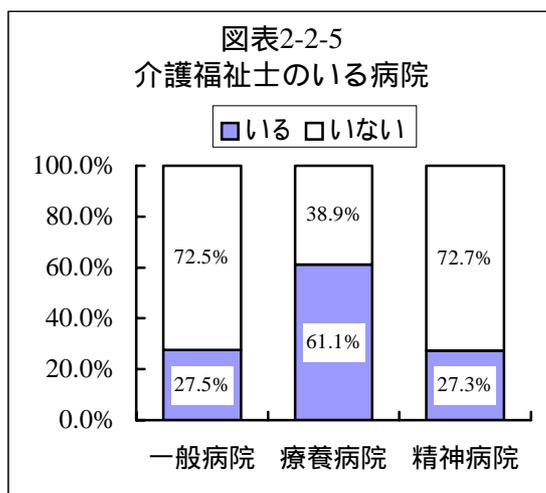


一般病院では、看護職員のうち看護師が63.8%を占めており、大半の病院で一般病棟入院基本料の施設基準（看護職員の最小必要人数の7割以上が看護師であること）を満たしているようである。一方、療養病院での看護師比率は28.0%、精神病院での看護師比率は36.8%であった。

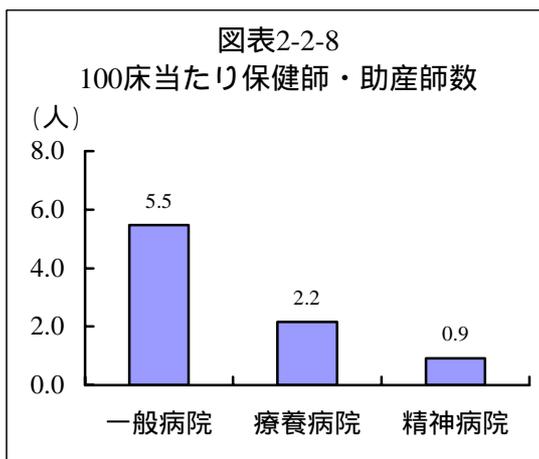
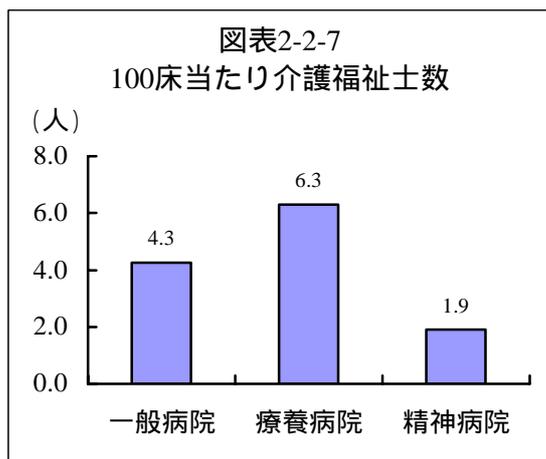


介護福祉士のいる病院は、一般病院 27.5%、療養病院 61.1%、精神病院 27.3%であり、100床当たりの介護福祉士数は一般病院 4.3人、療養病院 6.3人、精神病院 1.9人であった。

保健師・助産師のいる病院は、一般病院 30.6%、療養病院 12.2%、精神病院 7.3%であり、100床当たりの保健師・助産師数は一般病院 5.5人、療養病院 2.2人、精神病院 0.9人であった。



*「いる」は、介護福祉士、保健師・助産師の人数を記載していた病院の比率



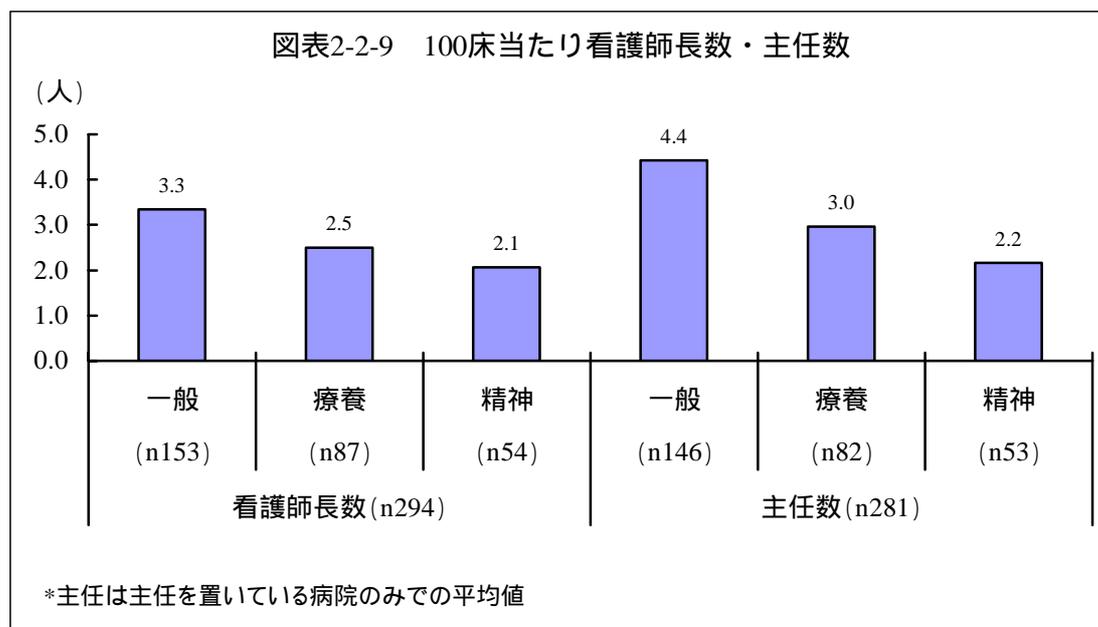
*100床当たり人数は、介護福祉士、保健師・助産師がいる病院のみでの平均値

(2) 看護師長・主任の配置および資格

100床当たりの看護師長数は、一般病院 3.3人、療養病院 2.5人、精神病院 2.1人であった。逆にいうと看護師長1人が抱える病床数は、一般病院 30.3床、療養病院 40.0床、精神病院 47.6床である。

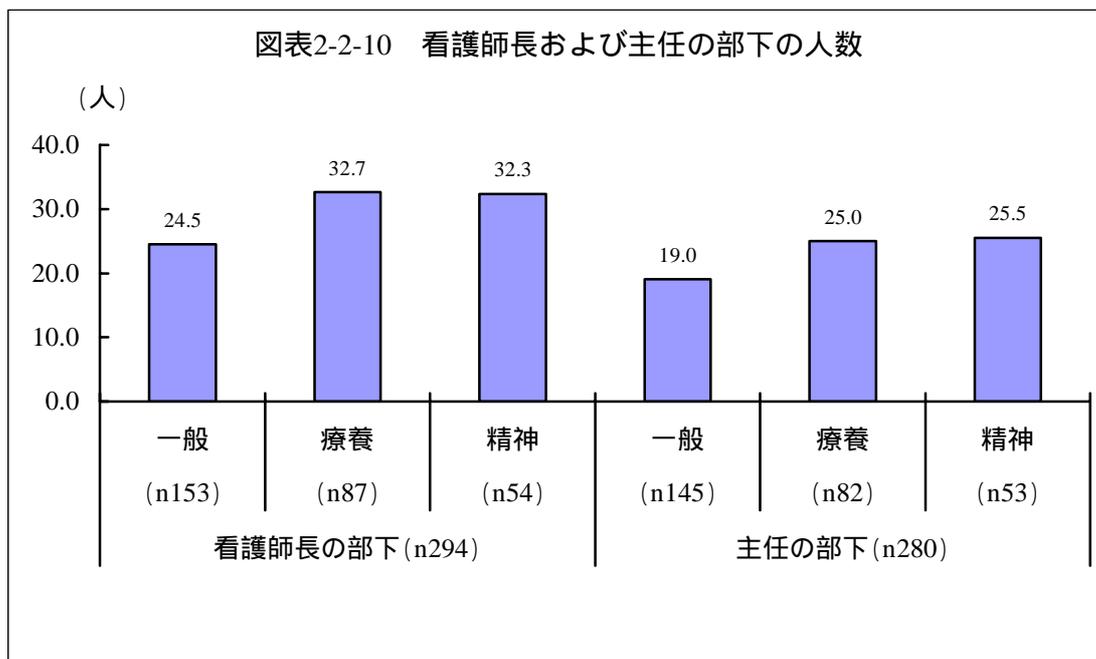
100床当たりの主任⁴の人数は、一般 4.4人、療養 3.0人、精神 2.2人であった。看護師長1人当たりの主任数は、一般病院 1.6人、療養病院では 1.5人、精神病院 1.5人であり、精神病院では看護師長の数と主任の数がほぼ同数であった。

なお、看護師長のもとに主任を置いていないというケースはほとんど見られず、多くの病院で看護師長1人当たり、主任1人強であった。



⁴ 病院によっては「主任」という名称でない場合もある。ここでは、「主任」という名称に限定せず、看護師長に次ぐグループリーダーのような立場の人として回答してもらっている。

看護師長の部下は、一般病院 24.5 人、療養病院 32.7 人、精神病院 32.3 人であった。
主任の部下は、一般病院 19.0 人、療養病院 25.0 人、精神病院 25.5 人であった。

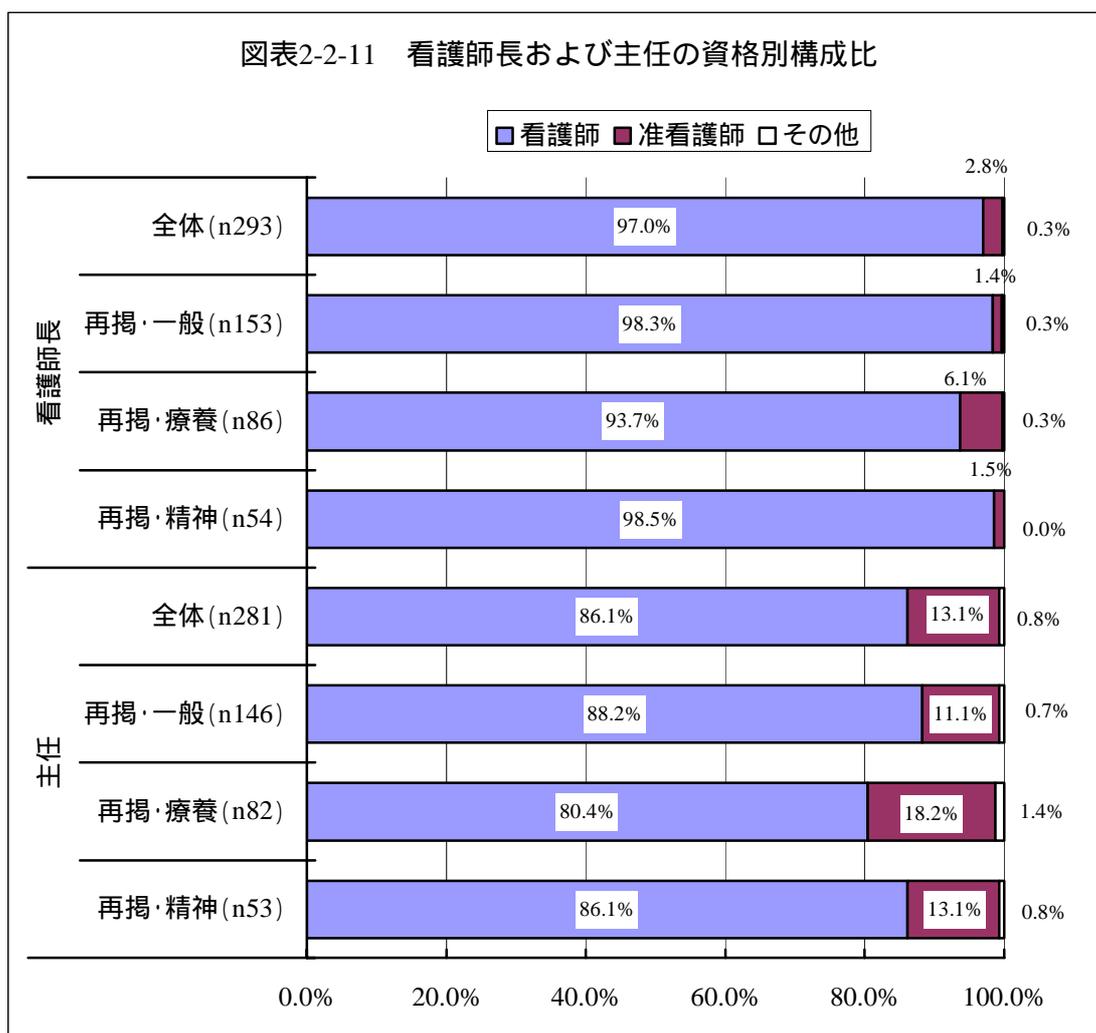


*看護師長の部下数 = 看護関係職員数 ÷ 看護師長数

*主任の部下数 = (看護関係職員数 - 看護師長数) ÷ 主任数

*看護関係職員数 = 看護師 + 准看護師 + 看護補助者 + 保健師・助産師 + 介護福祉士

全体で見ると、看護師長のうち看護師資格保有者が97.0%であり、准看護師資格保有者はわずか2.8%であった。主任では、看護師資格保有者は86.1%、准看護師資格保有者は13.1%であった。療養病院では、准看護師資格の主任が18.2%（5人に1人弱）であった。



3. 看護師と准看護師の差

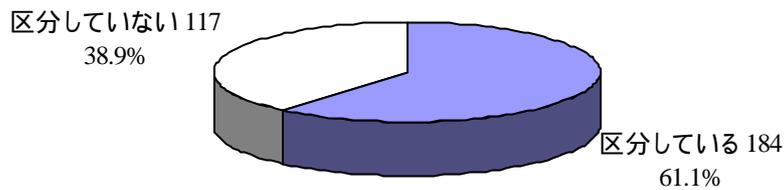
(1) 採用枠の区分

看護職員の採用について病院長に質問した。

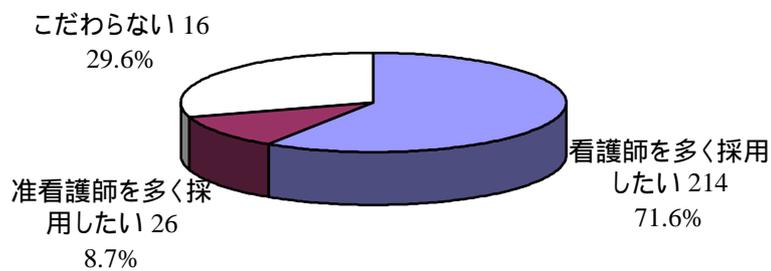
新規採用の際に、「看護師何名、准看護師何名」のようにあらかじめ採用枠を区分しているかという問いに対しては、「区分している」が 61.1%、「区分していない」が 38.9%であった。

また、看護師・准看護師のどちらを多く採用したいかという問いに対しては「看護師」71.6%、「准看護師」8.7%、「こだわらない」19.7%であった。

図表3-1-1 【病院長への質問】
新規採用時の看護師・准看護師の採用枠の区分 (n301)

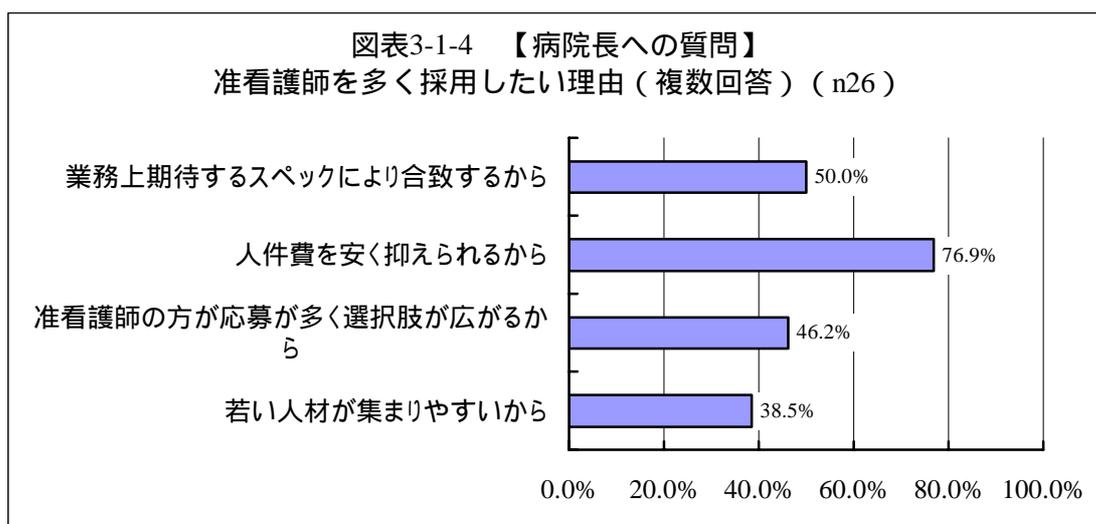
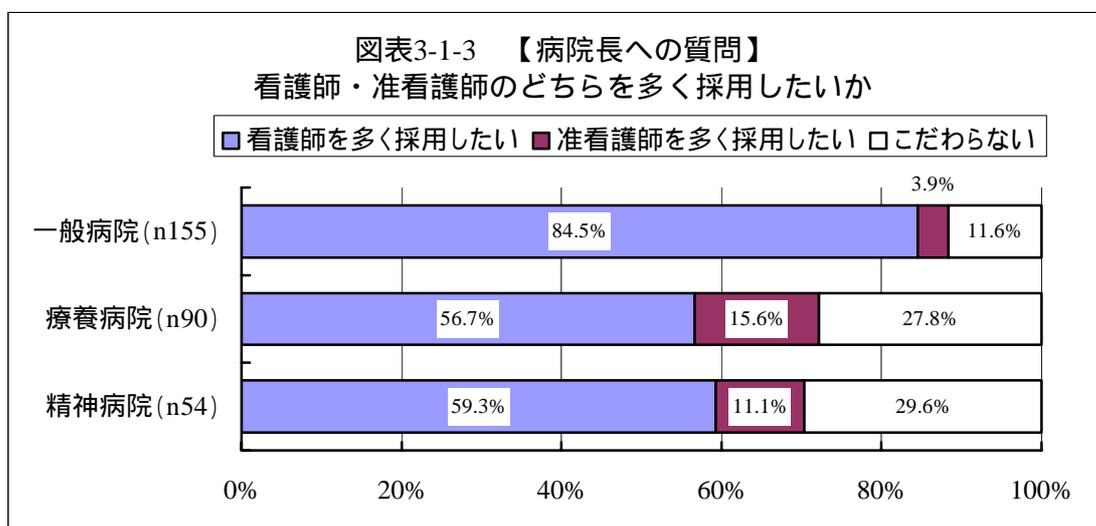


図表3-1-2 【病院長への質問】
看護師・准看護師のどちらを多く採用したいか (n299)



病院区分別では、一般病院で「看護師を多く採用したい」が84.5%に上った。これに対し、「准看護師を多く採用したい」は療養病院で15.6%、精神病院でも11.1%あった。また療養病院、精神病院では「こだわらない」という回答も3割近くあり、急性期(一般)と慢性期(療養、精神)によって、看護職に求める資格に違いがあった。

「准看護師を多く採用したい」と回答した病院長は、全体では26人であったが、その理由については、「人件費を安く抑えられるから」が最も多く76.9%(20件)であった。



(2) 待遇

ここでは、病院長と看護部長にそれぞれ、看護師と准看護師の待遇に差があるかどうかを質問した。

給与水準（同年齢のとき）

給与水準は看護師と准看護師との差がもっとも大きい項目であり、病院長の 95.7%、看護部長の 92.1%が、「看護師の方が高い」と回答した。

昇進・昇格のスピード

病院長の 73.6%、看護部長の 79.0%が、「看護師の方が速い」と回答した。「差はない」というところもあるが、そもそも就職時に給与格差があるため、同年齢時の給与は上記のように「看護師の方が高い」という結果になっているものと推察される。

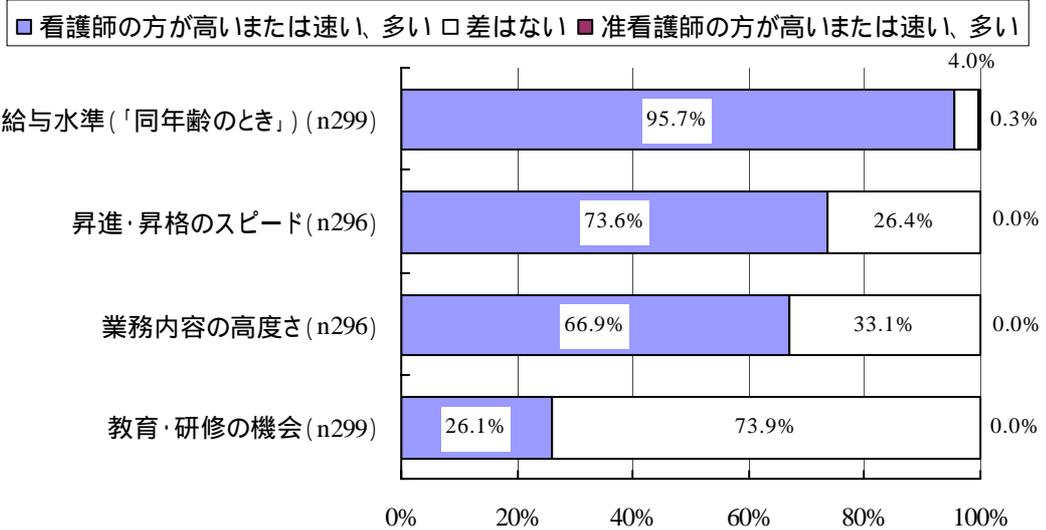
業務内容の高度さ（能力の差ではなく、実際にまかせている業務の高度さ）

「看護師の方が高い」と答えたのは病院長の 66.9%、看護部長の 58.4%であった。逆に看護部長から見ると 4 割の病院では、看護師、准看護師の業務に「差がない」ということになっている。また、病院長は業務内容に差をつけたつもりであっても、現場トップの看護部長から見れば同じような業務実態となっている場合も少なくないようである。

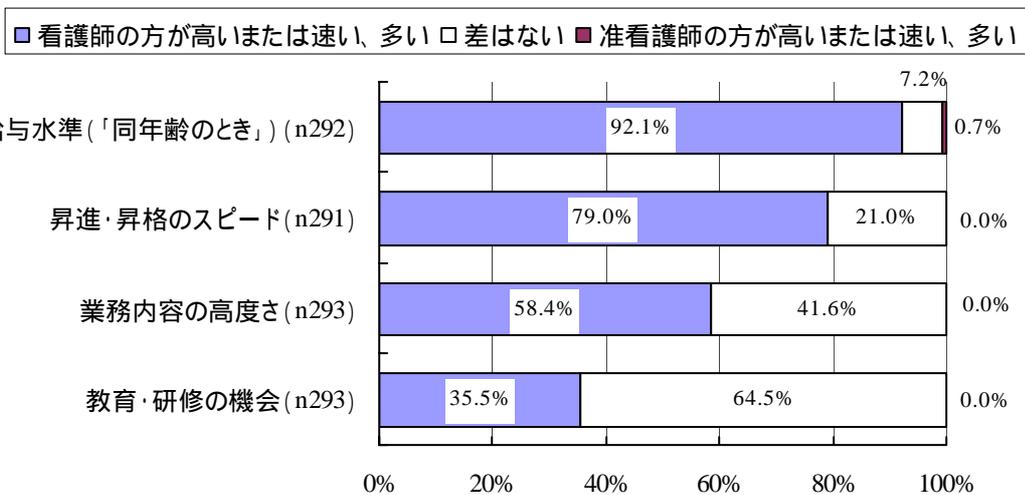
教育・研修の機会

教育・研修の機会については、病院長の 73.9%が「差はない」と答えたが、看護部長で「差はない」と回答したのは 64.5%であった。病院長は教育・研修の機会を均衡にしているつもりであっても、実際には准看護師がそれを享受できていない（享受しようとしな）場合もあるものと推察される。

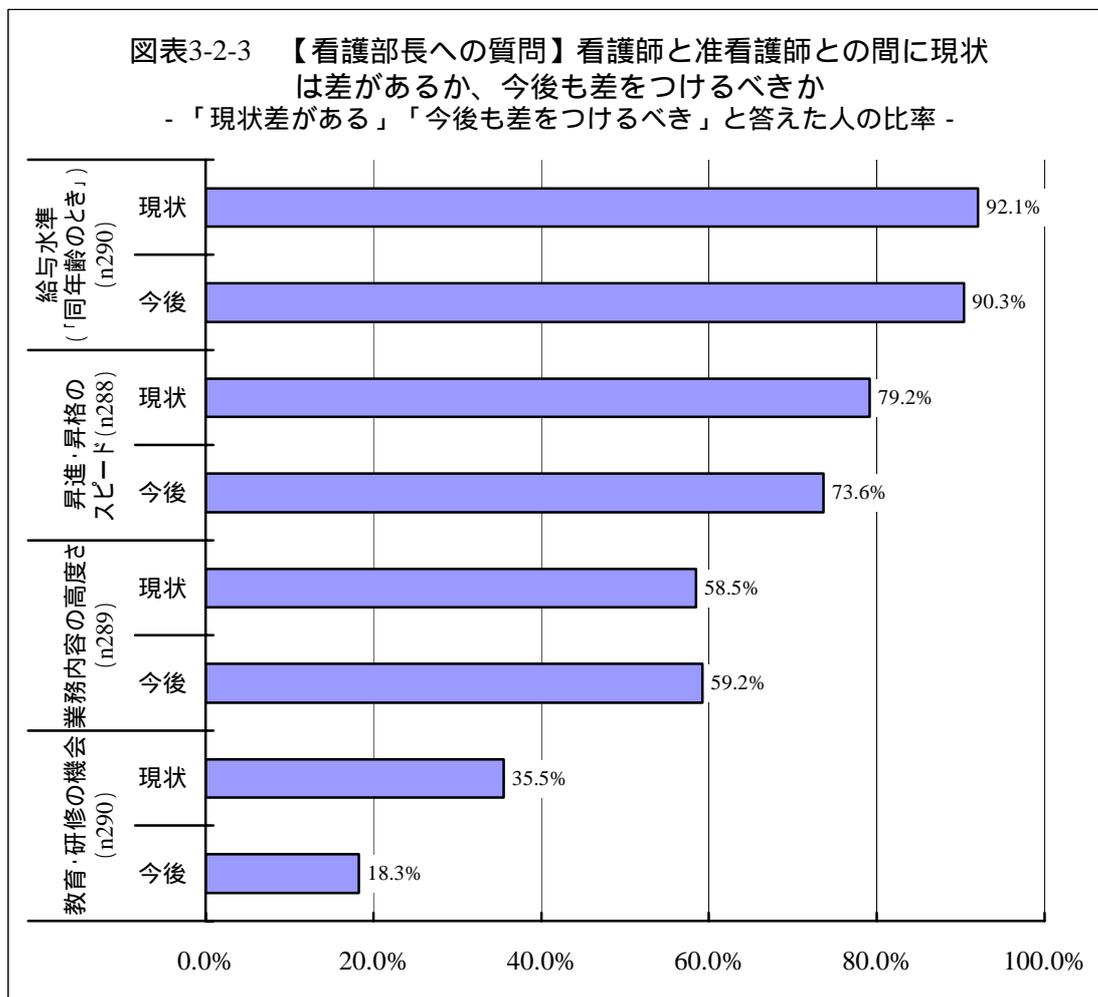
図表3-2-1 【病院長への質問】
看護師と准看護師との間に差をつけているか



図表3-2-2 【看護部長への質問】
看護師と准看護師との間に差があるか

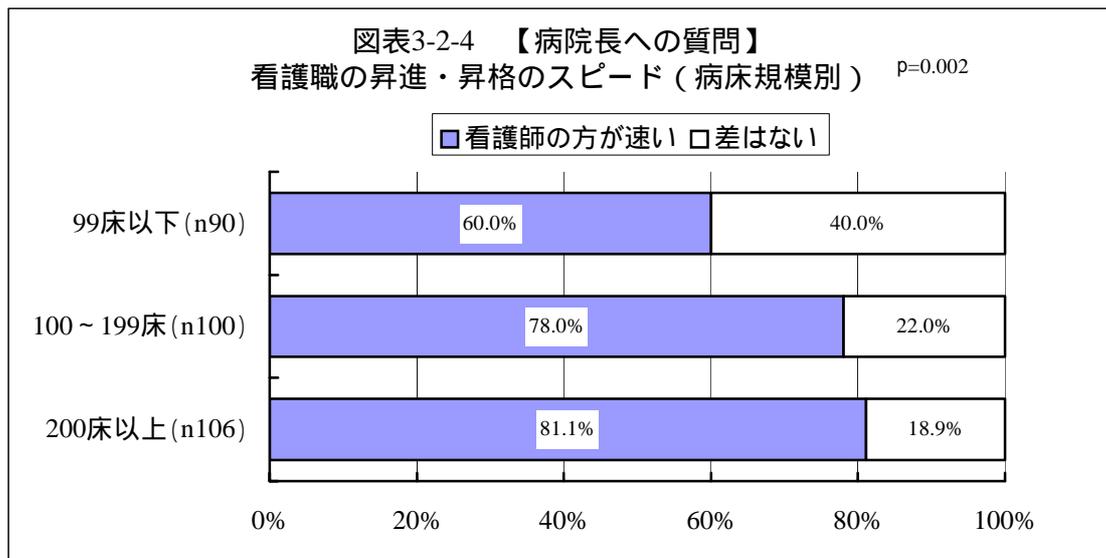


看護部長に、今後も看護師と准看護師間に待遇等の差をつけるべきかを質問した。
 給与水準、昇進・昇格のスピード、業務内容について、今後も「差をつけるべき」と考えている人は、現状「差がある」と答えた人より、わずかに減少する程度でしかなかった。
 ただし教育・研修の機会については、現状「差がある」は35.5%であるが、今後も「差をつけるべき」は18.3%であった。



*現状・今後の両方を回答したところを比較

病院長の回答のうち、「昇進・昇格のスピード」については、病床規模による有意差が見られた。200床以上では「看護師の方が速い」が81.1%であったが、99床以下の病院では差をつけていないところも40.0%あった。小規模病院では、必ずしも人事評価制度が厳密なものではなく、昇進・昇格は横並びで行うというケースもあるものと推察される。

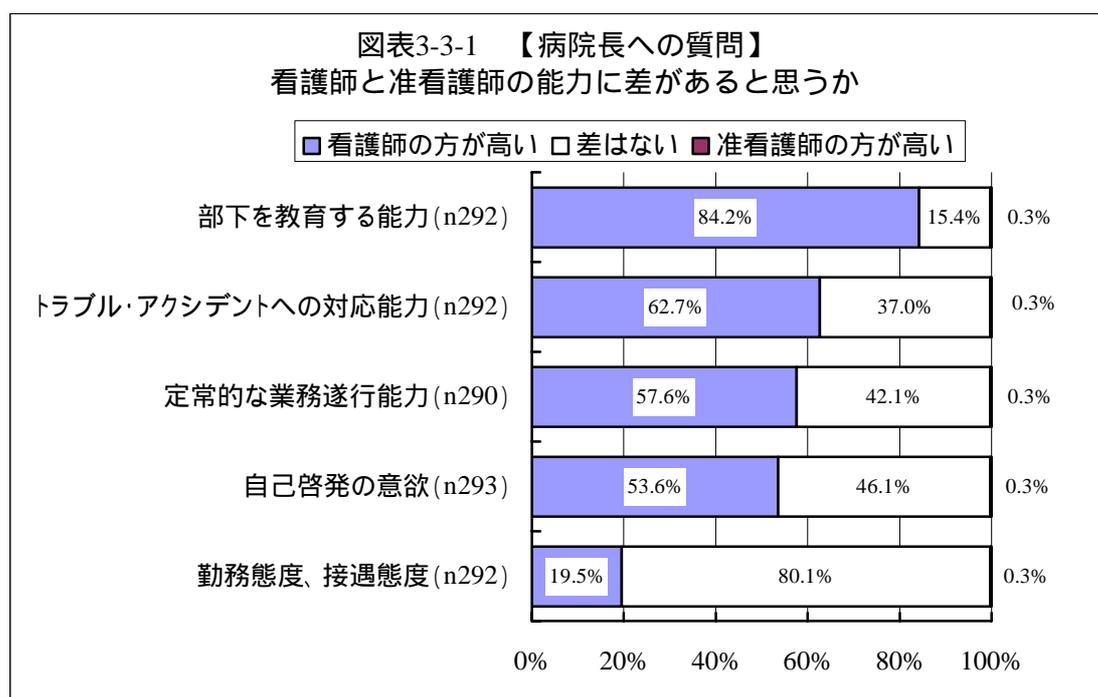


(3) 能力

病院長に対して、看護師と准看護師の能力に差があると思うかを質問した。

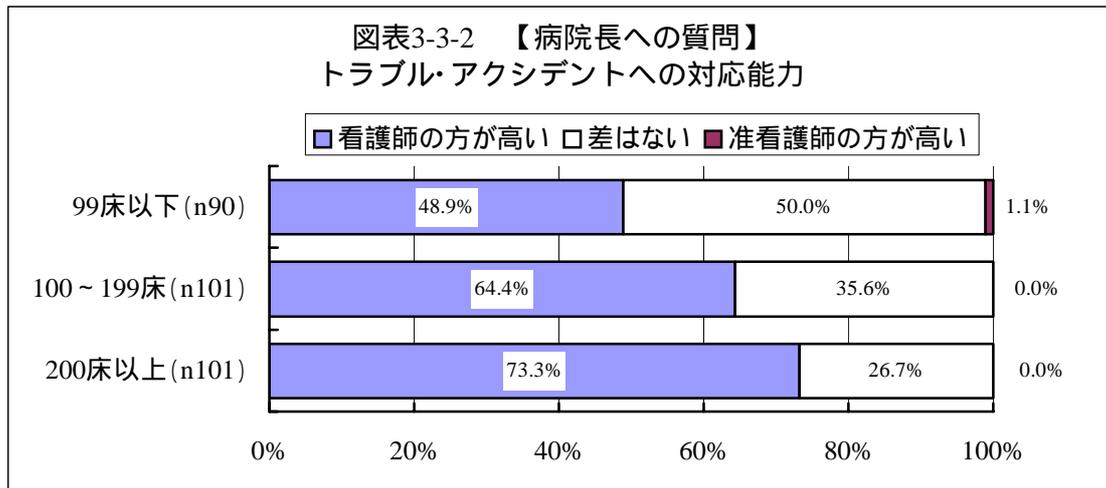
まず、部下の教育について、「看護師の方が高い」が84.2%を占めた。

業務面では、定常業務ではそうでもないが、トラブル・アクシデントなどイレギュラーな業務への対応能力は看護師の方が高いという見方が多かった。



*准看護師の方が高い0.3%（それぞれ1病院）は、同一病院ではない。チェックした病院は延べ4病院であった。

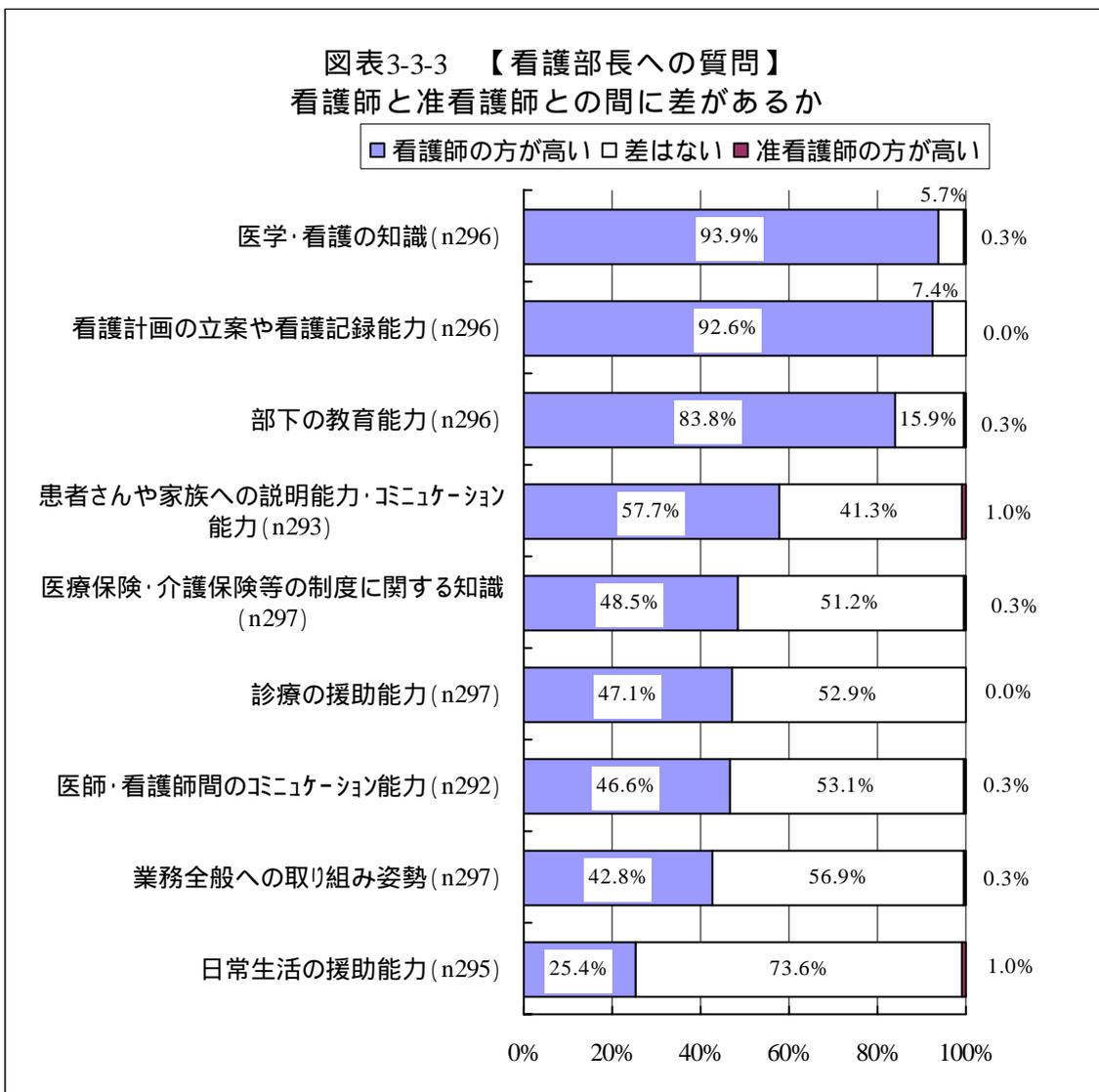
また、トラブル・アクシデントへの対応能力については、99床以下の病院では「差がない」が50.0%であり、病床規模が大きくなるほど「看護師の方が高い」という回答が多くなっている。



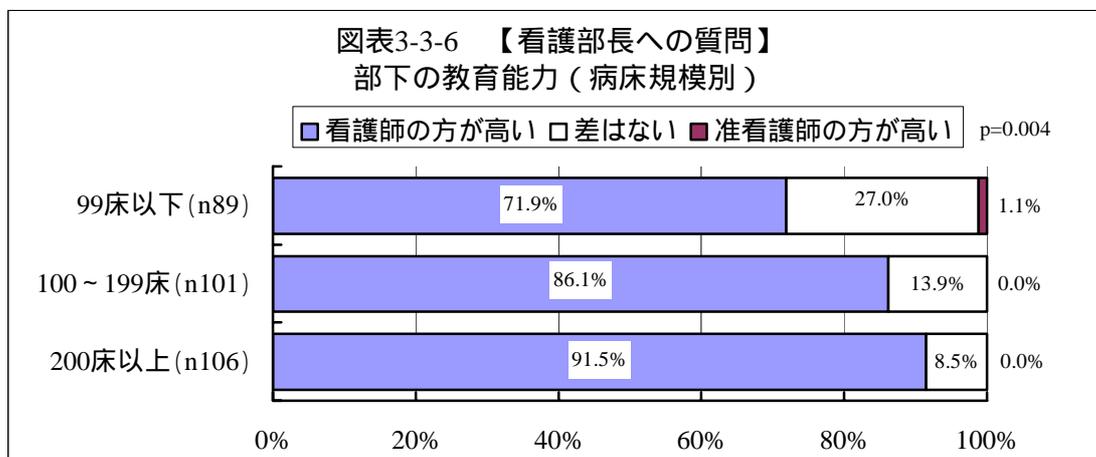
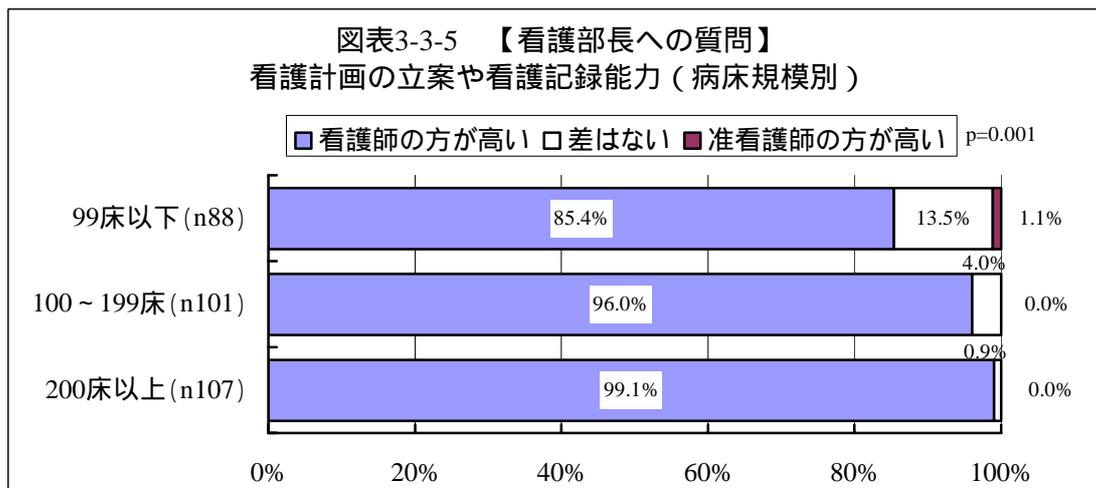
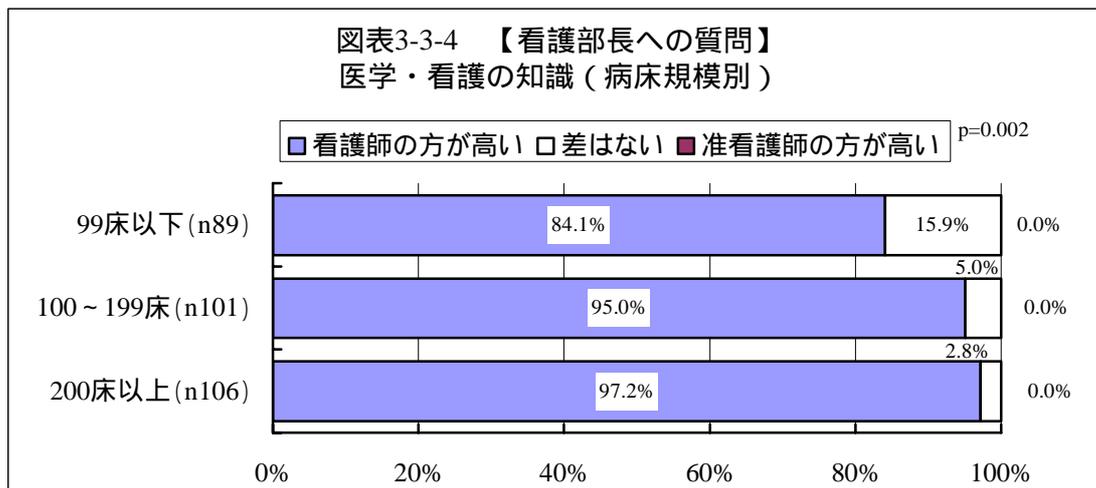
看護部長に対しては、より詳細な項目で、看護師と准看護師の知識や能力に差があると思うかどうかを質問した。「看護部長の方が高い」という回答が目立った項目は、

- ・ 医学・看護の知識
- ・ 看護計画の立案や看護記録能力（きちんと作成できるか）
- ・ 部下の教育能力

であった。「医学・看護の知識」は学習意欲の差、「看護計画の立案や看護記録能力」は権限委譲されているかの差、そして「部下の教育能力」の差はそういうポストに就けるかどうかの差であろうと思われる。

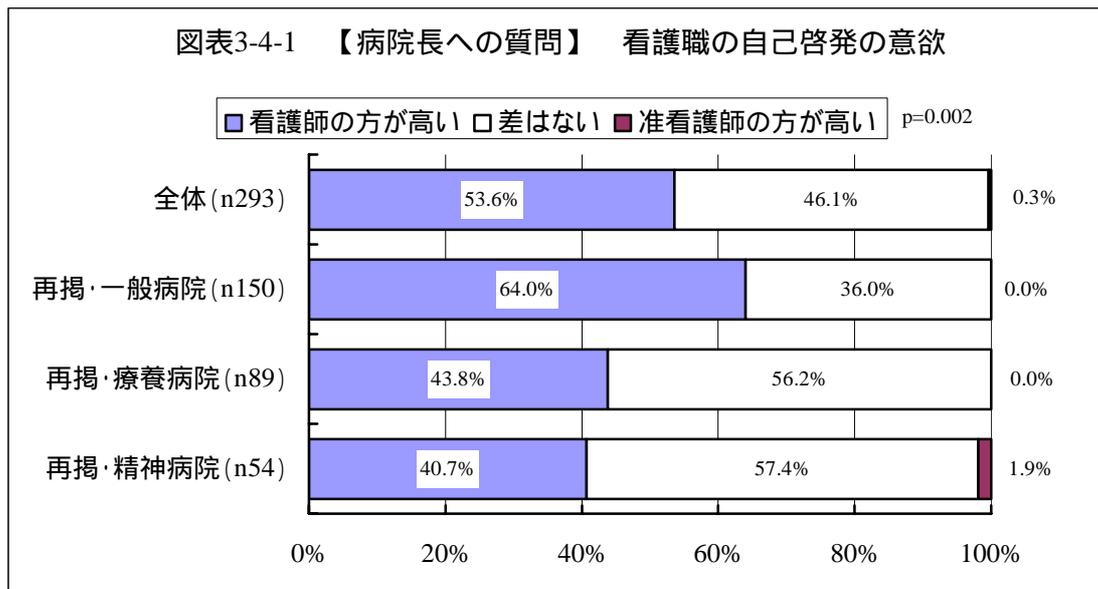


看護師と准看護師の能力差を病床規模別に見ると、「医学・看護の知識」「看護計画の立案や看護記録能力」「部下の教育能力」に明らかな有意差が見られた。これらでは、99床以下の病院では「差はない」という意見もあったが、100床以上の病院では「看護師の方が高い」が圧倒的多数を占めた。



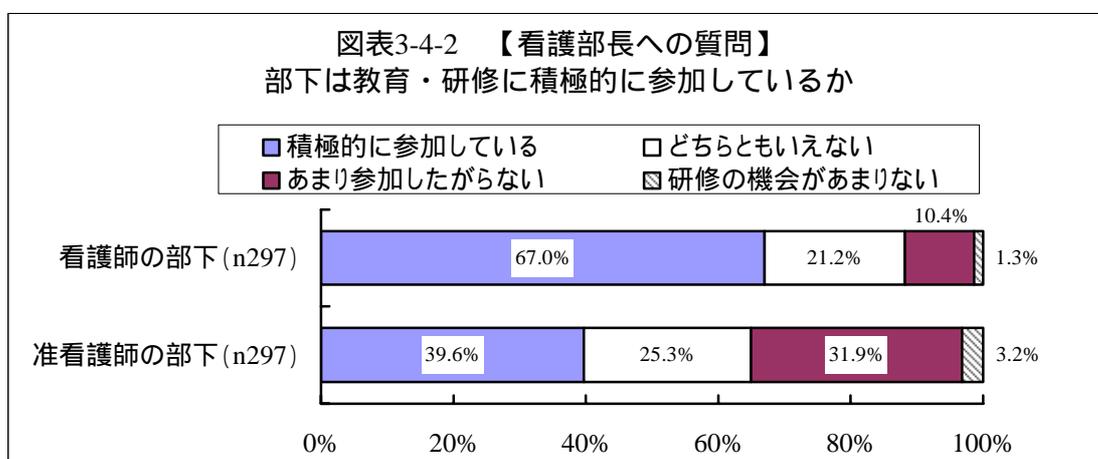
(4) 自己啓発意欲

病院長に、看護職自己啓発の意欲について聞いたところ、全体では「差はない」という意見が半数近くあった。病院区分別では、「看護師の方が高い」は一般病院で64.0%に達するが、療養病院では43.8%、精神病院では40.7%に止まっており、明らかな有意差が見られた。



看護部長には、部下が、院内・院外の教育・研修に積極的に参加しているかを質問した。

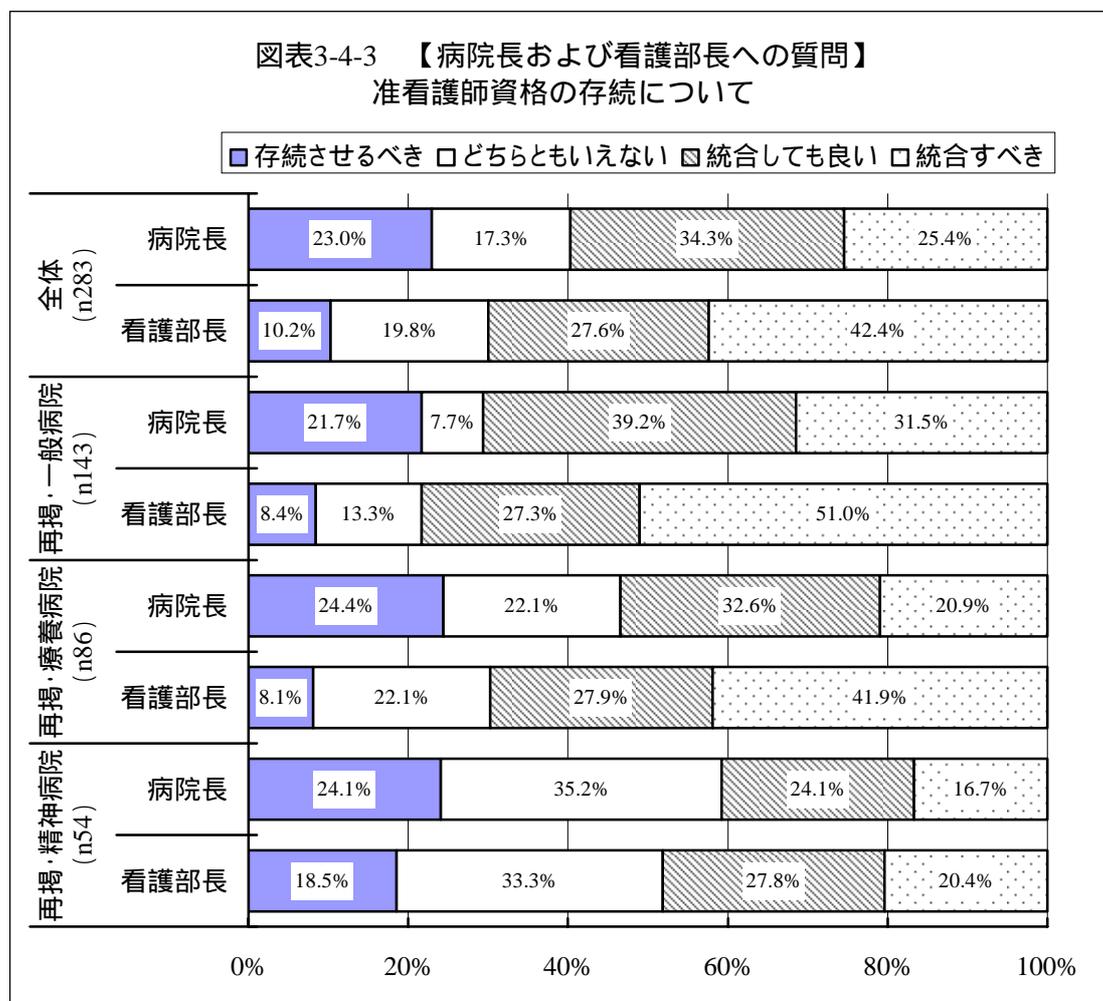
看護師の部下に関しては、「積極的に参加している」が67.0%であったが、准看護師の部下に関しては「あまり参加したからない」という見方も31.9%あった。



(5) 准看護師資格の存続について

「准看護師資格を存続させるべきである」との意見は、病院長では23.0%、看護部長では10.2%であった。資格の統合については、病院長では「統合しても良い」という消極的賛成が34.3%であるが、看護部長では「統合すべき」という積極的賛成が42.4%であった。

准看護師資格を存続させるべきであるという病院長は、どの病院区分でもほぼ4分の1である。一方、看護部長では、存続意見は、精神病院でもっとも高く18.5%である。また精神病院では、今後の存続について「どちらともいえない」と躊躇する意見も、病院長、看護部長ともに3割強あった。



*病院長・看護部長の両方が回答したところでの比較

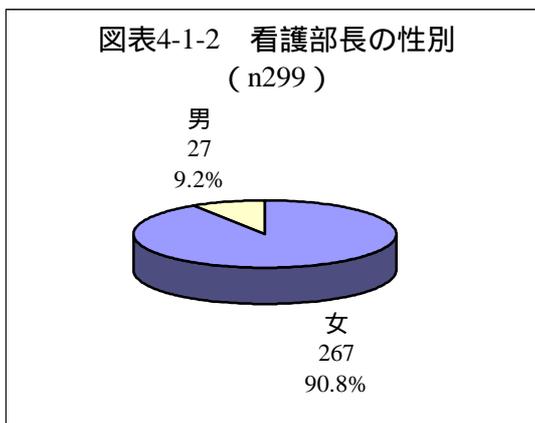
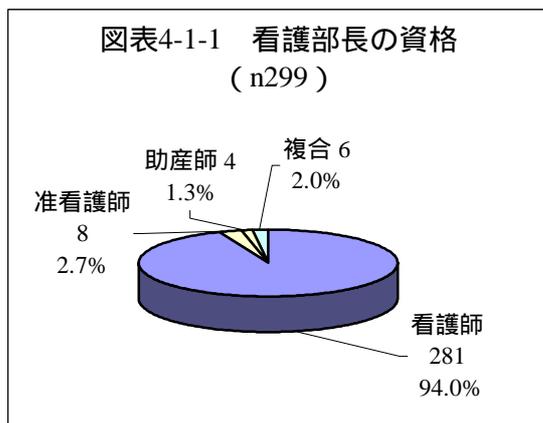
4. 看護部長のプロファイルとキャリア

(1) プロファイル

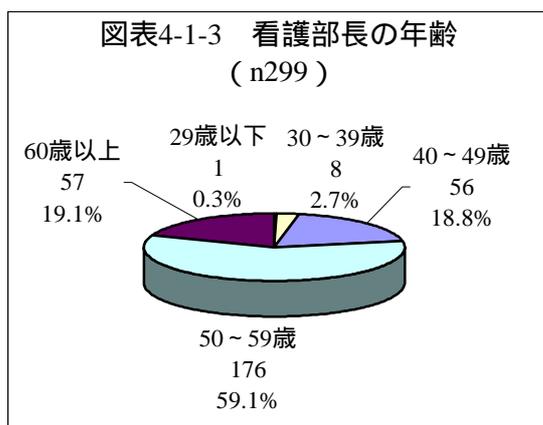
看護部長の資格は、看護師 94.0%であり、他の資格も保有している者(以下の「複合」)を含めると、看護師資格保有者は 96.0%であった。これに対して、准看護師資格しか保有していないケースは 2.7%であった。

男女比では、女性 90.8%、男性 9.2%であった。

年齢構成では、50～59歳 59.1%、60歳以上 19.1%であり、50歳以上が合わせて 78.2%であった。



*複合は、看護師資格と助産師資格を持っている場合



*29歳以下は、病床規模 50 床未満の病院の看護部長

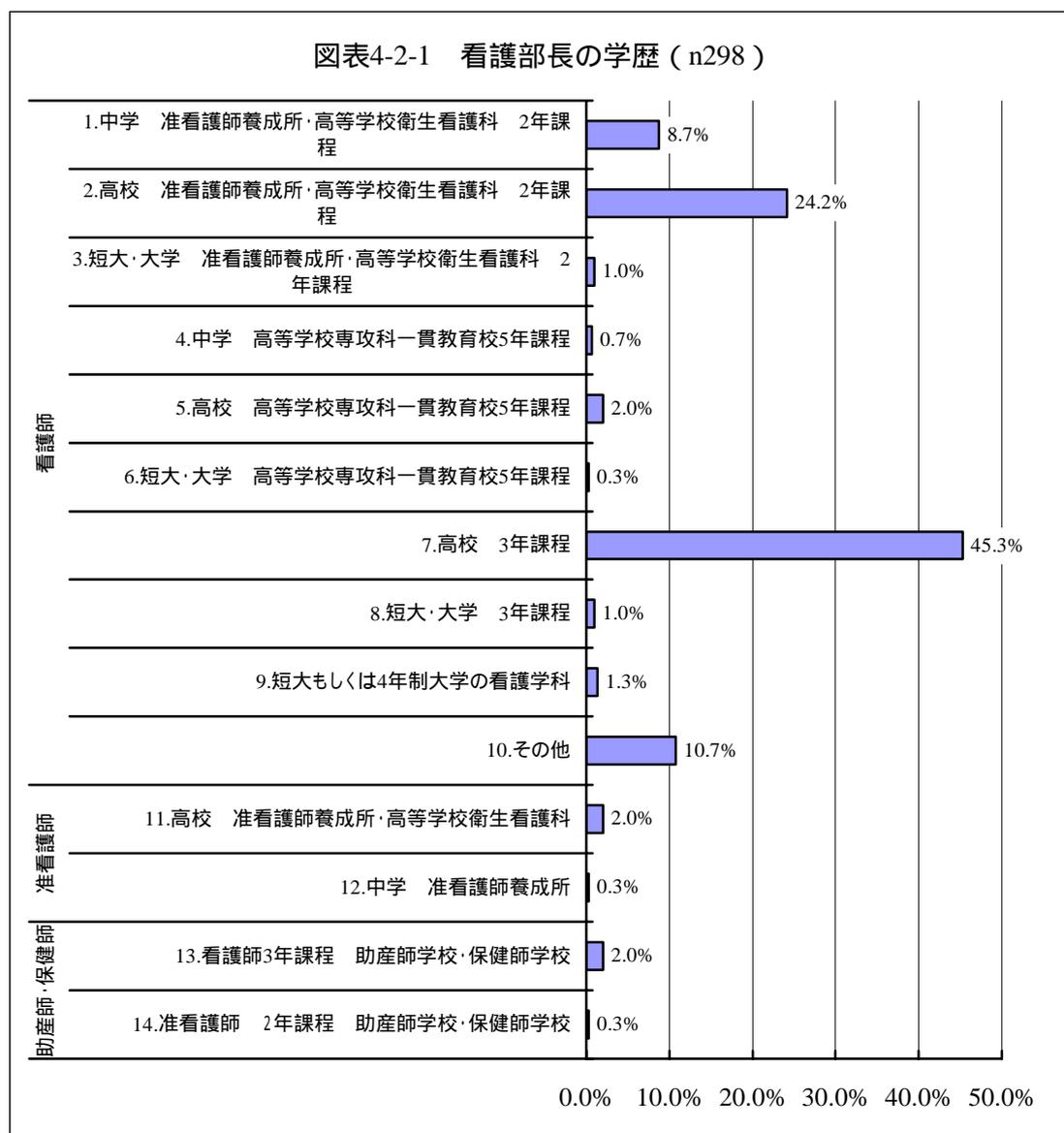
(2) キャリアパス

看護部長の学歴について質問した。

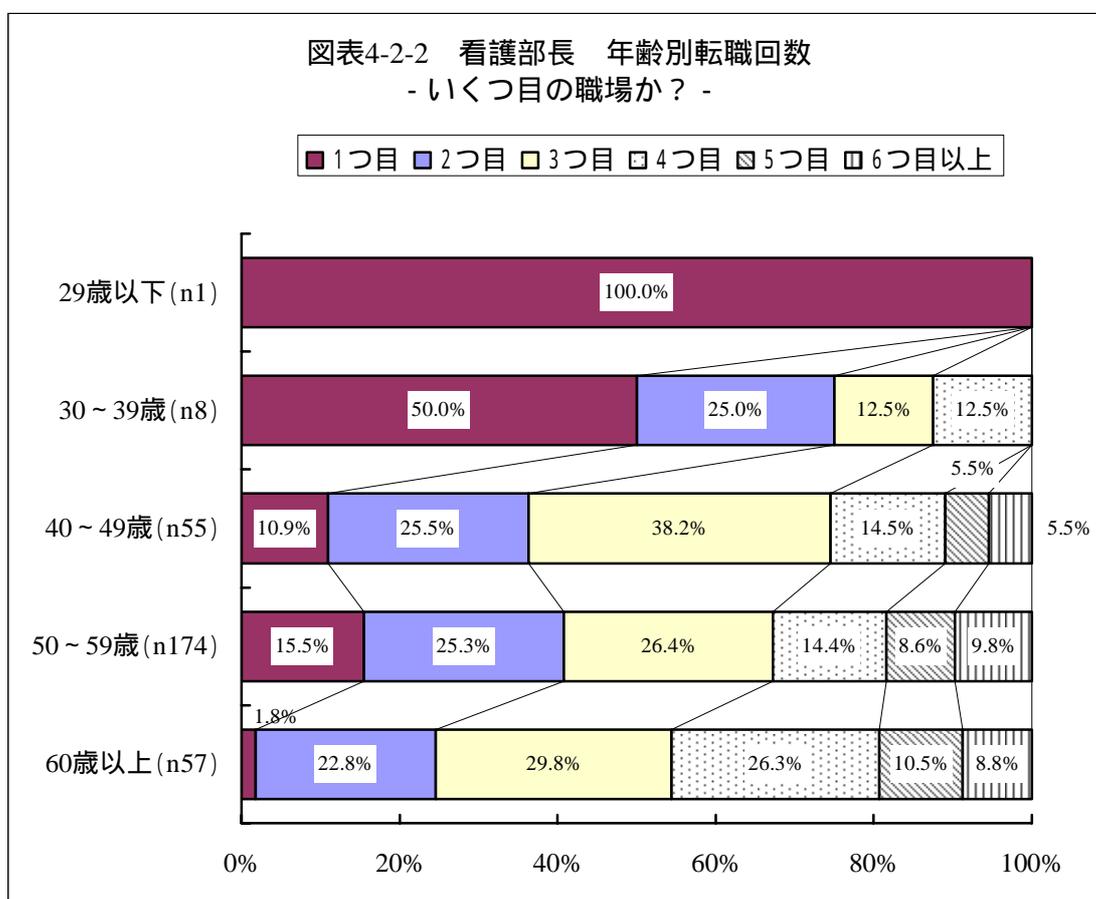
もっとも多いのは、看護師資格で「高校 3年課程」というケースが45.3%、次いで同じく看護師で「高校 准看護師養成所等 2年課程」というケースが24.2%であった。

准看護師資格の看護部長はもともと数が少なく、「中学 准看護師養成所」というケースは0.3%（1人）であった。

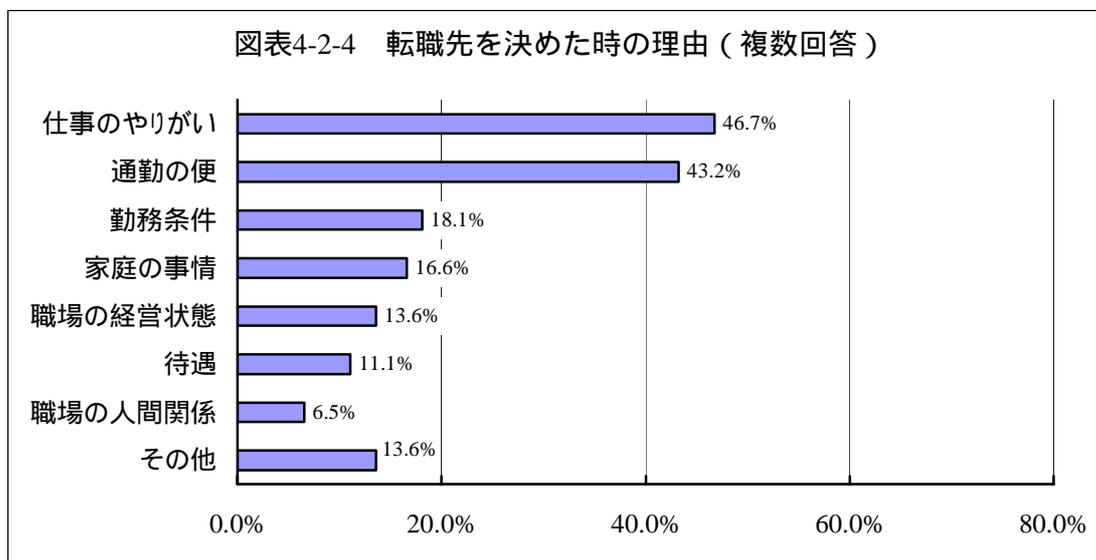
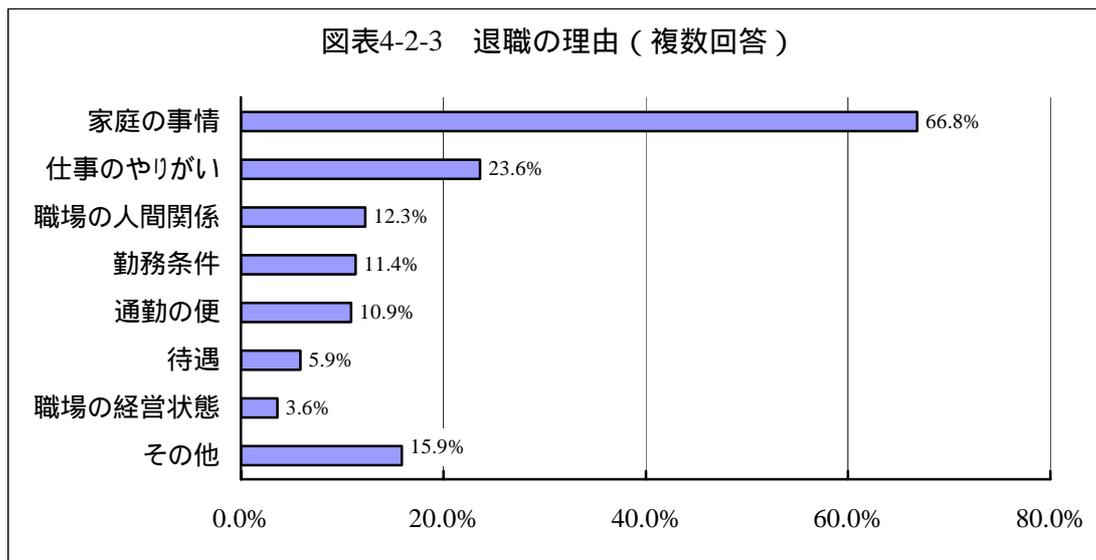
看護部長全体で、中学校から准看護師養成所等へ進んだ人は9.7%、短大・大学卒業者は3.7%であった。



看護部長の場合、30歳代で最初の職場に止まっている人は50.0%である。つまり、30歳代までに半分の人は少なくとも一度目の転職を経験する。結婚、出産の時期でもある。40歳代になると、さらにもう一回以上転職するので、40歳代では3つ目以上の職場という人が63.7%に達する。定年がある職場では、いったん定年退職をし、再就職をするケースもあるので、60歳以上では現在の職場が4つ目以上という人が45.6%になっている。



退職の理由としてもっとも多いのは「家庭の事情」66.8%であり、さらに10人に1人以上は「職場の人間関係」であった。また転職（再就職）の理由のトップは「仕事のやりがい」であるが、「通勤の便」43.2%、「家庭の事情」16.6%なども多い。産休・育児のほか、短縮勤務、再雇用制度などによっては、勤続が可能であることを示唆している。なお、退職理由の「その他」（35件）のうち、6件¹に「定年」と記述されていた。

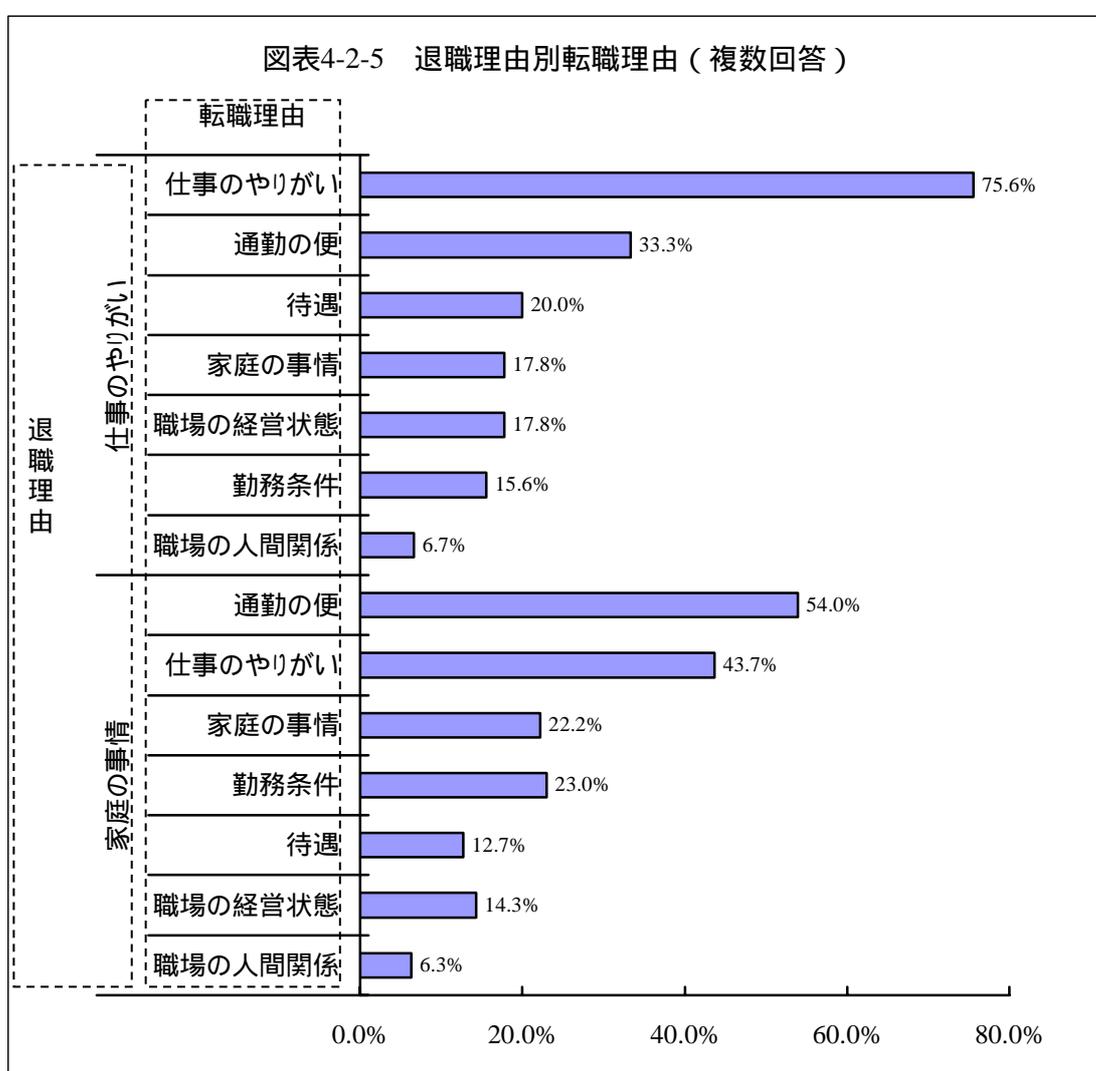


*比率は理由を回答した人数（退職 220 人、転職 199 人）に対する比率

¹ 今回は、看護部長の定年後再就職がかなりあることを想定していなかったため、退職理由の選択肢に「定年」を設けなかった。「その他」の中には、具体的な理由を記していないものもあるので、ほかにも定年再就職を経験した看護部長があると思われる。

退職時の理由と、転職時の理由を比較してみると、「仕事のやりがい」を理由に辞めた人の75.6%は、次の転職先も「仕事のやりがい」で選んでいるものの、「通勤の便」という回答も33.3%ある。「家庭の事情」で辞めた人の54.0%は、次の職場を通勤の便で選択しており、住所地が優先することを示している。

一方で、「家庭の事情」で辞めても、転職先を「仕事のやりがい」で選ぶ人も43.7%いる。当然のことではあるが、近くて、仕事のやりがいもあれば、なお良いということである。



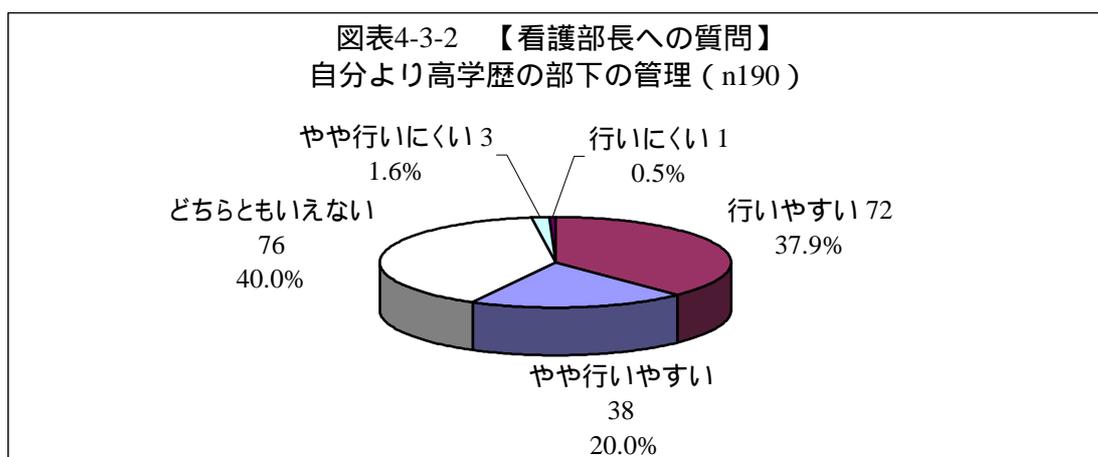
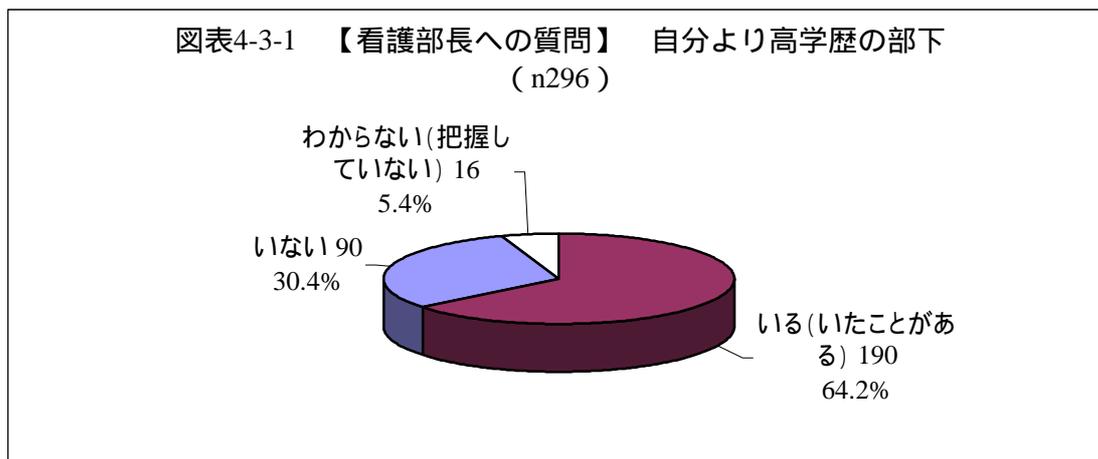
(3) マネジメント

自分より高学歴の部下がいる(いたことがある)看護部長は64.2%であった。これらの看護部長に対し、以下の注釈をつけて、高学歴の部下の管理のしやすさについて尋ねた。

行いやすい・・・理解が早い、頼れる

行いにくい・・・指示を出しにくい、注意しにくい

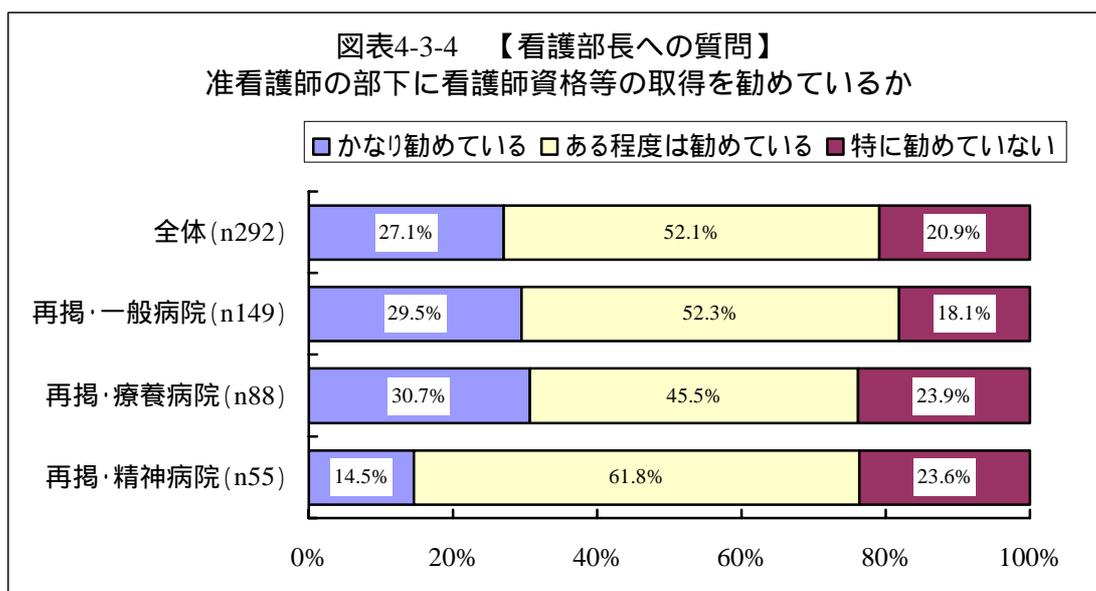
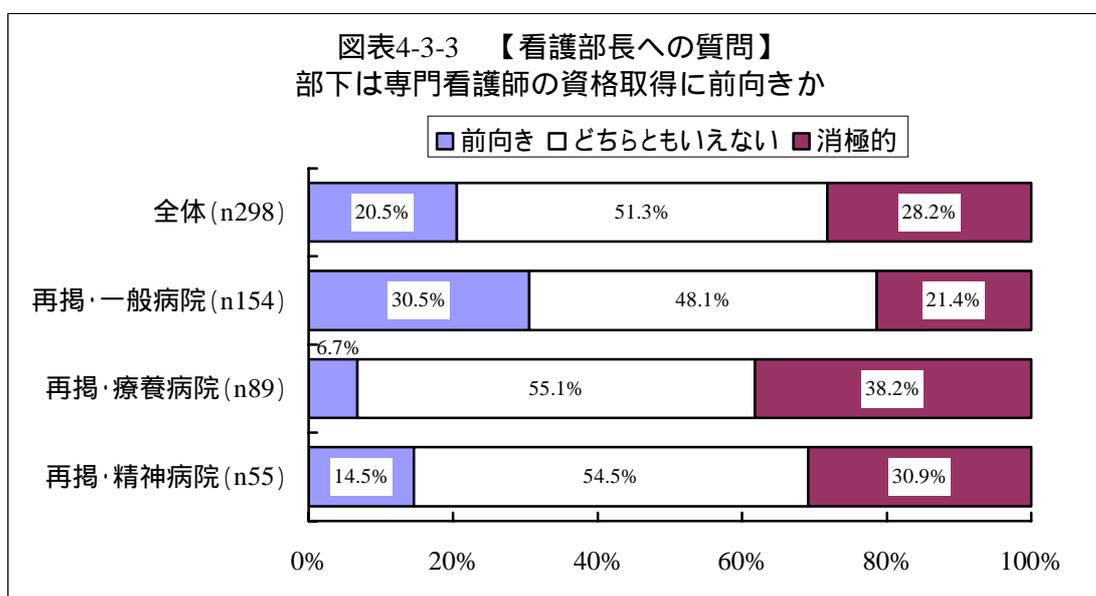
その結果、部下の管理については「行いやすい」が37.9%、「やや行いやすい」が20.0%で、合わせて57.9%であった。「どちらともいえない」が40.0%あったものの、行いにくいという意見はほとんど見られなかった。



* 「やや行いにくい」「行いにくい」を選択した看護部長の資格は看護師・准看護師半々であった。

部下が専門看護師の取得に前向きであると答えた看護部長は、全体では 20.5% であり、「消極的」が 28.2% でこれを上回った。一般病院では「前向き」が 30.5% あったのに対し、療養病院では「消極的」が 38.2% であった。

准看護師の部下に看護師資格等の取得を「かなり勧めている」看護部長は、全体では 27.1% であった。病院区分別では、精神病院でやや少なく、一般病院と療養病院とでは大きな差はなかった。



5 . まとめ

本分析は中間報告としての位置づけの下に行ったものである。よって、結論めいたことは言い難いが、准看護師の雇用のあり方に着目して、一応のまとめを試みたい。

現状の雇用

看護職員数の内訳は、看護師 49.9%、准看護師 25.5%、看護補助者 24.6%である。一般病院では、一般病棟入院基本料の算定にあたって看護師 70%以上を求められることもあり、看護師比率が平均 63.8%と高い。これに対して、療養病院では看護師 28.0%、准看護師 32.6%と、准看護師数が看護師数を上回っている。

また、一般病院では看護師を多く採用したいという病院長が 84.5%を占めるのに対し、療養病院・精神病院では准看護師を多く採用したい、あるいは資格にこだわらないという声も 4 割を超えている。

診療報酬上の縛りが無い限りにおいては、今後も准看護師へのニーズは少なくないであろうと推察される。

待遇の差

現状、看護師と准看護師の間には厳然たる給与格差が存在し、上司である看護部長の 9 割は今後も給与格差をつけるべきであると考えている。一方で、看護部長の多くは、今後は教育・研修の機会に差をつけるべきではないと考えている。しかし同時に、業務内容にも差をつけるべきという回答は 59.2%である。つまり、教育・研修の機会も与えるし、業務も同じようにやらせるが、給与や昇進・昇格には差をつけると言っているわけである。准看護師のキャリアアップのためには上司（ほとんどは看護師資格である）がひとつの壁かもしれない。

能力の差

看護部長から見て、看護師のほうが明らかに能力が高いのは「医学・看護の知識」「看護計画の立案・看護記録能力」であった。前者については、看護師に比べて、准看護師のほうが教育・研修への参加意欲が低いと見られてもいるように、看護部長の目には准看護師はとかく勉強不足だと写っているようである。後者については、こう

いう業務が准看護師に権限委譲されていないという現実もあるかと推察される。

「部下の教育能力」に関しては、病院長から「看護師の方が高い」という声が多かった。准看護師の場合は、能力以前に、部下を教育するようなポストに就けないということもあるかと思われる。

なお看護師の方が高いという声が多い能力であっても、病床規模の小さいところでは、「差はない」という回答も少なくなかった。特にトラブル・アクシデントへの対応能力に関しては、大規模病院（200床以上）の病院長の73.3%が「看護師の方が高い」と回答しているのに対し、小規模病院（99床以下）の病院長の50.0%は「差はない」と答えている。大規模病院と小規模病院では、トラブルの程度が違う - 例えば大規模病院では災害時の救急搬送で患者が集中したり、先例の少ない手術を行ったりすることがある - という面もあるだろう。また、小規模病院では職員数が少ないため、必ずしも看護師と准看護師との役割分担が明確になっておらず、准看護師がイレギュラーな業務に対応することも多いが、経験を積みばできるようになるということかと思われる。

准看護師資格の存続について

准看護師資格を「統合すべき」という回答は、病院長の25.4%、看護部長の42.4%であった。統合意見はどちらかというところ一般病院で多い。これとは逆に精神病院の看護部長の18.5%は「存続させるべき」と回答している。療養病院でも看護部長の30.2%は「存続させるべき」「どちらともいえない」と答えている。病院によっては、あるいは業務内容によっては准看護師が必要とされているといえる。

看護部長のキャリアパス

今後、筆者らは「看護師・准看護師調査」を行う予定であるが、その布石として、まず看護部長のキャリアパスについて質問した。

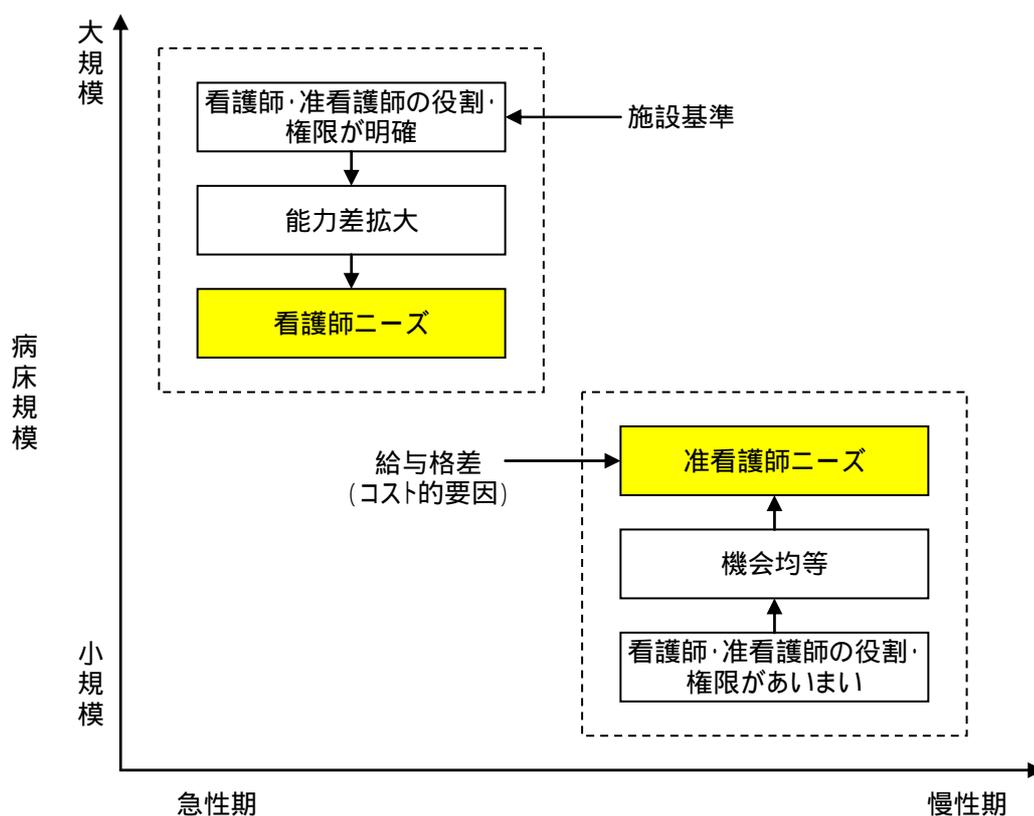
看護部長のうち准看護師資格を持つ者は2.7%しかいない。また、看護部長のうち中卒で准看護師養成所等に進学した者は9.7%、短大・大学卒は3.7%であった。現場の業務には准看護師も求められているが、准看護師が看護部長に就くケースは殆どないのが実態である。

看護部長は30歳代で1回目の、40歳代で2回目以上の転職を経験する。退職理由

は主として「家庭の事情」であるが、退職経験者の10人に1人以上は、その理由に「職場の人間関係」を上げている点は注意すべきことであろう。転職理由は「仕事のやりがい」と「通勤の便」がほぼ同数であった。「通勤の便」がかなり優先されるということは、看護職の供給が利便性の高い都市部に集中し、地方の採用が困難になっていることも示唆している。今後「看護師・准看護師調査」によって、この点も検証していきたい。

本中間分析から次のようなことが確認された。

- ・ 一般病院では、施設基準を満たすため看護師を一定比率以上雇用している。特に大規模病院では看護職員の総数も多く、個々の役割と権限が比較的明確に区分されているが、その中で、准看護師には高い組織ポジションは与えられていないと思われる。そのこともあって、看護師と准看護師の能力差が拡大し、より看護師へのニーズが高まっている。しかしだからといって、上司が准看護師の部下に対して看護師資格を取るよう強力に勧めているわけではない。
- ・ 療養病院では、コスト的理由から少なからず准看護師を雇用する。特に中小の病院は職員数も少なく、人事制度や上司部下関係が厳密なものではなく、また業務自体がそれほど高度ではないということもあって、准看護師が任される業務の幅が広い。それで大きな問題もないので、准看護師雇用のニーズがある。



以上のように、病院類型によって看護師・准看護師雇用のニーズはかなり異なる。今後の調査では、それぞれの類型の中でも差があるのか、看護師・准看護師自身はどのように就業していきたいと考えているのか等を検証していく予定である。また転職理由に地域密着意識が見られたので、どの程度「地産地消^{ちさんちしょう}」になっているのかといった需給面の関係も調査したい。

・ 参考資料

- ・ 日本看護協会出版会「平成 15 年 看護関係統計資料集」
- ・ 前田由美子・原祐一，福岡県メディカルセンター保健・医療・福祉研究機構，福岡県医師会「病院経営マネジメント「人事制度の現状と課題 - 人事制度改革にむけて - 」」2004 年 3 月

日本医師会総合政策研究機構 / 福岡県医師会 / 福岡県庁イノベーションセンター保健・医療・福祉研究機構
看護師・准看護師の雇用に関するアンケート調査（平成17年1月）

*本調査は、病院における看護師・准看護師の雇用について検討するための基礎データとすることを目的としています。

*調査データについては統計的に処理し、個別医療機関のデータは一切公表しません。

*この表紙もつけて、以下にご返送をお願いします。締め切りは1月28日です。

お問い合わせ先・返送先

福岡県医師会

TEL :

《記入要領とお願い》

1. アンケート用紙は、「病院長アンケート」と「看護部長アンケート」に別れています。両方とりまとめてご返送をお願いします。
2. アンケートの最後に「看護師・准看護師アンケート」（見本）がついています。このアンケートは、ご協力いただける医療機関にあらためてご連絡・ご相談致しますのでご協力いただけるかどうか、以下に 印をお願いします。

ア．協力する（する予定）

イ．協力しない

3. 以下に、貴施設の連絡先等をご記入ください

| 貴施設名 |
|---------|
| |
| 連絡先 |
| 電話番号: |
| FAX番号: |
| E-mail: |
| 担当者氏名: |

記入漏れや記入内容に齟齬があった場合に確認させていただくためのものです。
個人名を特定して公表することは絶対にありません。

病院長アンケート

(全部で4ページあります)

【 ．病院の基本情報】

| | | | | |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|
| 1．所属都市医師会 | で囲んでください。 福岡市、北九州市、遠賀中間、京都、豊前築上、糸島、筑紫、粕屋、宗像、直方鞍手、田川、飯塚、久留米、大牟田、八女筑後、甘木朝倉、小郡三井、大川三瀬、柳川山門、浮羽郡 | | | |
| 2．病院種別 | で囲んでください。その他の場合は記入してください。 一般病院 / 精神病院 / その他() | | | |
| 3．開設者 | で囲んでください。その他の場合は記入してください。 個人 / 医療法人 / 国公立 / 公的機関・社会保険関係団体・公益法人 その他() | | | |
| 4．開設後年数 | で囲んでください。 10年未満 / 10～19年 / 20～29年 / 30～39年 / 40～49年 / 50年以上 | | | |
| 5．病床数 | 病床数を記入してください。 一般_____床 / 療養_____床 精神_____床 / その他_____床 合計_____床 | | | |
| 6．標榜科目 | で囲んでください。 内科 心療内科 精神科 神経科 神経内科 呼吸器科 消化器科 胃腸科 循環器科 アレルギー科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 形成外科 美容外科 脳神経外科 呼吸器外科 心臓血管外科 小児外科 皮膚泌尿器科 皮膚科 泌尿器科 性病科 こう門科 産婦人科 産科 婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 気管食道科 放射線科 リハビリテーション科 歯科 矯正歯科 小児歯科 歯科口腔外科 麻酔科 その他() | | | |

【 . 病院の職員数】

1. 職種別職員数をご記入ください。

平成16年12月の在籍職員数を記入してください。

非常勤職員（パートなど）は常勤換算してください。小数点第2位まで。

| | 常勤職員数 | 非常勤職員数 常勤換算してください |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 医師 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 |
| 看護師 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 |
| 准看護師 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 |
| 看護補助者 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 |
| 保健師・助産師 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 |
| 介護福祉士 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 | <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> . <input type="text"/> 人 |

$$\text{常勤換算人数} = \frac{\text{非常勤職員の平成16年12月の総労働時間(非常勤全員の労働時間を足したもの)}}{\text{常勤職員の1ヶ月当たりの所定労働時間(決められた労働時間)}}$$

2. 看護師長および看護主任の人数および資格（看護師か准看護師か）をご記入ください。

* 実人数（アタマ数）をご記入ください。

* 「主任」は看護師長に次ぐ、グループリーダーのような立場とお考えください。

必ずしも「主任」という名称の方でなくても構いません。

| | |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 看護師長 (総看護師長・副総 看護師長を含む) | <input type="text"/> <input type="text"/> 人 <input type="text"/> 師長(看護長)のアタマ数 そのうち 看護師資格 <input type="text"/> <input type="text"/> 人、准看護師資格 <input type="text"/> <input type="text"/> 人、その他 <input type="text"/> <input type="text"/> 人 |
| 主任 | <input type="text"/> <input type="text"/> 人 <input type="text"/> 主任等のアタマ数 そのうち 看護師資格 <input type="text"/> <input type="text"/> 人、准看護師資格 <input type="text"/> <input type="text"/> 人、その他 <input type="text"/> <input type="text"/> 人 |

【 ．看護職員の採用】

1 . 新規採用の際、「看護師何名、准看護師何名」のように採用枠を区分しておられますか？

該当するものを で囲んでください。

ア . 区分している

イ . 区分していない

2 . 看護師・准看護師のどちらを多く採用されたいですか？

実際の採用人数にかかわらず、ご意向（気持ち）をお聞かせください。

該当するものを で囲んでください。

ア . 看護師を多く採用したい

イ . 准看護師を多く採用したい

ウ . 看護師・准看護師の別にこだわらない

3 . 上記2で、准看護師を多く採用したいとお答えになった方におうかがいします。その理由は何ですか？

該当するものをいくつでも で囲んでください。（複数回答）

ア . 業務上期待するスペックにより合致するから（業務と能力等の合致）

イ . 人件費を安く抑えられるから

ウ . 准看護師の方が応募が多く選択肢が広がるから

エ . 若い人材が集まりやすいから

オ . その他（ ）

【 ．看護職員の待遇・能力・役割】

1．以下の項目について、看護師と准看護師との間で差をつけていますか？

人によって異なる場合もあるかと思われませんが、平均像でお答えください。

項目ごとに該当する箇所に を付けてください。

| | | | |
|--------------|------|----------|-----------|
| 給与水準（同年齢のとき） | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 昇進・昇格のスピード | 差はない | 看護師の方が速い | 准看護師の方が速い |
| 業務内容の高度さ | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 教育・研修の機会 | 差はない | 看護師の方が多い | 准看護師の方が多い |

能力の差ではなく、実際にまかせている業務がより高度かどうか

2．以下の項目について、看護師と准看護師との間に差があると思われませんか？

人によって異なる場合もあるかと思われませんが、平均像でお答えください。

項目ごとに該当する箇所に を付けてください。

| | | | |
|-------------------|------|----------|-----------|
| 定常的な業務遂行能力 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| トラブル、アクシデントへの対応能力 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 部下を教育する能力 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 自己啓発の意欲 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 勤務態度、接遇態度 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |

3．准看護師資格の存続についてどのようにお考えですか？

該当するものを で囲んでください。

- ア．看護師とは異なる役割があるので存続させるべき
- イ．看護師資格に統合しても良い
- ウ．看護師資格を統合すべき
- エ．どちらともいえない

以上で、病院長アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

看護部長アンケート

(全部で5ページあります)

「看護部長」あるいは「総看護師長」の方へのアンケートです。

【 .プロフィール】

あなたのプロフィールについてお聞かせください。

該当するものを で囲んでください。

1. あなたの年齢は? 29歳以下 30～39歳 40～49歳 50～59歳 60歳以上
2. あなたの性別は? 女・男
3. あなたの資格は? 看護師・准看護師・助産師・保健師・その他

4. あなたの学歴について教えてください。

もっとも近いものに を付けるか、その他にご記入ください。

《看護師の方の場合》

- ア. 中学 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 2年課程 看護師
- イ. 高校 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 2年課程 看護師
- ウ. 短大・大学 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 2年課程 看護師
- エ. 中学 高等学校専攻科一貫教育校5年課程 看護師
- オ. 高校 高等学校専攻科一貫教育校5年課程 看護師
- カ. 短大・大学 高等学校専攻科一貫教育校5年課程 看護師
- キ. 高校 3年課程 看護師
- ク. 短大・大学 3年課程 看護師
- ケ. 短大もしくは4年制大学の看護学科 看護師
- コ. その他 ()

《准看護師の方の場合》

- ア. 中学 准看護師養成所 准看護師
- イ. 中学 高等学校衛生看護科 准看護師
- ウ. 高校 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 准看護師
- エ. 短大・4年制大学 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 准看護師
- オ. その他 ()

《助産師・保健師の方の場合》

- ア. 准看護師 2年課程 助産師学校・保健師学校 助産師・保健師
- イ. 看護師3年課程 助産師学校・保健師学校 助産師・保健師
- ウ. 短大もしくは4年制大学の看護学科 助産師・保健師
- エ. その他 ()

【 . キャリア】

1 . 現在の勤務先への勤続年数は何年ですか？

該当する箇所に を付けてください。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ア . 5年未満 | イ . 5年以上10年未満 | ウ . 10年以上15年未満 |
| エ . 15年以上20年未満 | オ . 20年以上25年未満 | カ . 25年以上30年未満 |
| キ . 30年以上 | | |

2 . 看護職についてから、現在の職場はいくつ目の職場ですか？

該当する箇所に を付けてください。

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1つ目の職場 | 2つ目の職場 | 3つ目の職場 |
| 4つ目の職場 | 5つ目の職場 | 6つ目以上の職場 |

3 . 看護職についてから転職経験のある方におうがいたします。

退職されたときの理由は何ですか、また次の就職先を決めたときの理由は何ですか？

該当するものにいくつでも を付けてください。（複数回答）

何回も転職された方は、その都度理由が異なるかもしれませんが、該当するものにはいくつでも をつけてください。

| | | 辞めたときの理由 | 転職先を決めたときの理由 |
|------------------|-------------------------|----------|--------------|
| 自己都合 | 仕事のやりがい | | |
| | 勤務条件（残業、夜勤、福利厚生） | | |
| | 待遇（昇給、昇格、給与、賞与） | | |
| | 職場の人間関係 | | |
| | 職場の経営状態（安定性・将来性など） | | |
| | 家庭の事情（結婚、出産、子供の就学、夫の転勤） | | |
| | 通勤の便 | | |
| 職場からの退職勧告 | | | |
| その他（ご自由にお書きください） | | | |

【 . 看護師と准看護師の業務】

1 . あなたの部下には、看護師の方も、准看護師の方もいらっしゃいますか？

該当する箇所に を付けてください。

ア . 看護師のみ イ . 准看護師のみ ウ . 看護師も准看護師もいる

2 . 知識や、業務遂行能力について看護師と准看護師との間に、差があると思われますか？

人によって異なる場合もあるかと思われませんが、平均像でお答えください。

それぞれの項目につき、該当する箇所に を付けてください。

| | | | |
|-----------------------------|------|----------|-----------|
| 日常生活の援助能力(清潔援助、食事介助、移動援助など) | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 診療の援助能力(測定、検査、治療の補助など) | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 看護計画の立案や看護記録能力(きちんと作成できるか) | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 患者さんや家族への説明能力・コミュニケーション能力 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 医師・看護師間のコミュニケーション能力 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 医学・看護の知識 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 医療保険・介護保険等の制度に関する知識 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 部下の教育能力 | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 業務全般への取り組み姿勢(熱心さ) | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |

【 . 看護師と准看護師の待遇など】

1 . 現状、あなたの病院では以下の項目について差がありますか？

それぞれの項目につき、該当する箇所に を付けてください。

【現状】

| | | | |
|--------------|------|----------|-----------|
| 給与水準（同年齢の場合） | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 昇進・昇格のスピード | 差はない | 看護師の方が速い | 准看護師の方が速い |
| 業務内容の高度さ | 差はない | 看護師の方が高い | 准看護師の方が高い |
| 教育・研修の機会 | 差はない | 看護師の方が多い | 准看護師の方が多い |

能力の差ではなく、実際にまかせている業務がより高度かどうか

2 . 今後（も）、差をつけるべきであると思われませんか？

それぞれの項目につき、該当する箇所に を付けてください。

【今後】

| | | | |
|--------------|-------------|------------|-------|
| 給与水準（同年齢の場合） | 差をつけるべきではない | 差をつけるべきである | わからない |
| 昇進・昇格 | 差をつけるべきではない | 差をつけるべきである | わからない |
| 業務内容の高度さ | 差をつけるべきではない | 差をつけるべきである | わからない |
| 教育・研修の機会 | 差をつけるべきではない | 差をつけるべきである | わからない |

能力の差ではなく、実際にまかせる業務を高度なものにするかどうか

【 . 看護師と准看護師の役割】

准看護師資格の存続についてどのようにお考えですか？

該当するものを で囲んでください。

- ア．看護師とは異なる役割があるので存続させるべき
- イ．看護師資格に統合しても良い
- ウ．看護師資格に統合すべき
- エ．どちらともいえない

【 . マネジメント】

1. 自分より高学歴の部下がいらっしゃいますか？

該当する箇所に を付けてください。

ア. いる (いたことがある) イ. いない ウ. わからない (把握していない)

2. 1で「ア. 高学歴の部下がいる」とお答えになった方にうかがいます。

自分より高学歴の部下に対して日常業務を遂行する際に管理を行いにくいと感じることがありますか？ (たとえば、指示を出しにくい、注意しにくいなど)

該当する箇所に を付けてください。

ア. 行いにくい イ. やや行いにくい ウ. どちらともいえない
エ. やや行いやすい (理解が早い、頼れるなど) オ. 行いやすい

【 . 能力開発】

1. あなたの部下は院内・院外の教育・研修に積極的に参加していますか？

該当する箇所に看護師・准看護師それぞれ1つ を付けてください。

| | 看護師 | 准看護師 |
|--------------------|-----|------|
| ア. 積極的に参加している | | |
| イ. あまり参加したがない | | |
| ウ. どちらともいえない | | |
| エ. そもそも研修の機会があまりない | | |

2. あなたの部下は専門看護師資格の取得に前向きですか？

該当する箇所に を付けてください。

ア. 前向き イ. 消極的 ウ. どちらともいえない

3. 准看護師の部下がいらっしゃる方におうかがいします。

今後、看護師または保健師、助産師資格を取得するよう勤めていますか？

該当する箇所に1つだけ を付けてください。

ア. かなり勤めている イ. ある程度は勤めている
ウ. 特に勤めていない (本人にまかせる、この件に関しては口出ししない)
エ. どちらかという反対の意味で勤めていない

以上で、看護部長アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

看護師・准看護師の雇用に関するアンケート調査
集計表

・病院の基本情報

1. 所在地

保健所別

| 保健所 | | 病院数 | 回答数 | 回答率 |
|-----|-----|-----|-------|--------|
| 福岡 | 中央 | 19 | 14 | 73.7% |
| | 博多 | 20 | 13 | 65.0% |
| | 南 | 17 | 13 | 76.5% |
| | 早良 | 13 | 8 | 61.5% |
| | 東 | 22 | 13 | 59.1% |
| | 西 | 22 | 16 | 72.7% |
| | 城南 | 8 | 6 | 75.0% |
| | 計 | 121 | 83 | 68.6% |
| 糸島 | 10 | 6 | 60.0% | |
| 粕屋 | 26 | 15 | 57.7% | |
| 宗像 | 14 | 8 | 57.1% | |
| 筑紫 | 28 | 13 | 46.4% | |
| 朝倉 | 9 | 6 | 66.7% | |
| 久留米 | 49 | 28 | 57.1% | |
| 八女 | 13 | 10 | 76.9% | |
| 大牟田 | 25 | 16 | 64.0% | |
| 山門 | 9 | 5 | 55.6% | |
| 嘉穂 | 24 | 12 | 50.0% | |
| 鞍手 | 13 | 12 | 92.3% | |
| 田川 | 18 | 9 | 50.0% | |
| 遠賀 | 14 | 8 | 57.1% | |
| 京築 | 17 | 13 | 76.5% | |
| 北九州 | 門司 | 11 | 6 | 54.5% |
| | 小倉北 | 21 | 14 | 66.7% |
| | 小倉南 | 20 | 13 | 65.0% |
| | 若松 | 5 | 5 | 100.0% |
| | 八幡東 | 7 | 6 | 85.7% |
| | 八幡西 | 23 | 15 | 65.2% |
| | 戸畑 | 5 | 2 | 40.0% |
| 計 | 92 | 61 | 66.3% | |
| 計 | | 482 | 305 | 63.3% |

医師会別

| 医師会 | 回答数 |
|------|-----|
| 福岡市 | 82 |
| 北九州市 | 61 |
| 遠賀中間 | 8 |
| 京都 | 9 |
| 豊前築上 | 4 |
| 糸島 | 6 |
| 筑紫 | 13 |
| 粕屋 | 15 |
| 宗像 | 8 |
| 直方鞍手 | 12 |
| 田川 | 9 |
| 飯塚 | 11 |
| 久留米 | 15 |
| 大牟田 | 17 |
| 八女筑後 | 11 |
| 甘木朝倉 | 6 |
| 小郡三井 | 5 |
| 大川三潁 | 4 |
| 柳川山門 | 4 |
| 浮羽郡 | 4 |
| 非会員 | 1 |
| 合計 | 305 |

*国立、県立は地域医師会に含めた

2 - 1 . 病院種別

| | 回答数 | |
|------|-----|--------|
| | 回答数 | 構成比 |
| 一般病院 | 206 | 67.5% |
| 精神病院 | 55 | 18.0% |
| その他 | 44 | 14.4% |
| 計 | 305 | 100.0% |

2 - 2 . 病院区分

| | 回答数 | | 備考 |
|------|-----|--------|----------------------------------------|
| | 回答数 | 構成比 | |
| 一般病院 | 160 | 52.5% | 下記以外の病院 精神病院以外で療養病床60%以上の病院 精神病院 |
| 療養病院 | 90 | 29.5% | |
| 精神病院 | 55 | 18.0% | |
| 計 | 305 | 100.0% | |

3 . 開設者

| | 病院数 | 回答 | | 回答率 |
|--------------------|-----|-----|--------|-------|
| | | 病院数 | 構成比 | |
| 個人 | 53 | 30 | 9.8% | 56.6% |
| 医療法人 | 334 | 213 | 69.8% | 63.8% |
| 国公立 | 35 | 21 | 6.9% | 60.0% |
| 公的機関・社会保険関係団体・公益法人 | 46 | 30 | 9.8% | 65.2% |
| その他 | 14 | 11 | 3.6% | 78.6% |
| 計 | 482 | 305 | 100.0% | 63.3% |

*その他:会社、学校法人、共済組合

4 . 開設後年数

| | 回答数 | |
|--------|-----|--------|
| | 回答数 | 構成比 |
| 10年未満 | 36 | 12.5% |
| 10～19年 | 45 | 15.6% |
| 20～29年 | 53 | 18.3% |
| 30～39年 | 55 | 19.0% |
| 40～49年 | 41 | 14.2% |
| 50年以上 | 59 | 20.4% |
| 計 | 289 | 100.0% |
| 回答なし | 16 | - |

5 . 病床規模

| | 一般病院 | | 療養病院 | | 精神病院 | |
|----------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|
| | 回答数 | 構成比 | 回答数 | 構成比 | 回答数 | 構成比 |
| 20～49床 | 23 | 14.4% | 10 | 11.1% | 0 | 0.0% |
| 50～99床 | 38 | 23.8% | 21 | 23.3% | 3 | 5.5% |
| 100～199床 | 47 | 29.4% | 41 | 45.6% | 13 | 23.6% |
| 200～499床 | 39 | 24.4% | 15 | 16.7% | 37 | 67.3% |
| 500床以上 | 13 | 8.1% | 3 | 3.3% | 2 | 3.6% |
| 計 | 160 | 100.0% | 90 | 100.0% | 55 | 100.0% |
| 平均(床) | 199.2 | - | 154.0 | - | 245.2 | - |

6. 標榜科目

| | 回答数 | |
|------------|-----|--------|
| | | 構成比 |
| 内科 | 258 | 84.6% |
| 心療内科 | 42 | 13.8% |
| 精神科 | 90 | 29.5% |
| 神経科 | 59 | 19.3% |
| 神経内科 | 50 | 16.4% |
| 呼吸器科 | 90 | 29.5% |
| 消化器科 | 106 | 34.8% |
| 胃腸科 | 70 | 23.0% |
| 循環器科 | 131 | 43.0% |
| アレルギー科 | 13 | 4.3% |
| リウマチ科 | 39 | 12.8% |
| 小児科 | 66 | 21.6% |
| 外科 | 134 | 43.9% |
| 整形外科 | 129 | 42.3% |
| 形成外科 | 31 | 10.2% |
| 美容外科 | 1 | 0.3% |
| 脳神経外科 | 53 | 17.4% |
| 呼吸器外科 | 15 | 4.9% |
| 心臓血管外科 | 20 | 6.6% |
| 小児外科 | 13 | 4.3% |
| 皮膚泌尿器科 | 5 | 1.6% |
| 皮膚科 | 57 | 18.7% |
| 泌尿器科 | 57 | 18.7% |
| 性病科 | 3 | 1.0% |
| ことう門科 | 36 | 11.8% |
| 産婦人科 | 28 | 9.2% |
| 産科 | 8 | 2.6% |
| 婦人科 | 22 | 7.2% |
| 眼科 | 51 | 16.7% |
| 耳鼻咽喉科 | 46 | 15.1% |
| 気管食道科 | 6 | 2.0% |
| 放射線科 | 96 | 31.5% |
| リハビリテーション科 | 191 | 62.6% |
| 歯科 | 40 | 13.1% |
| 矯正歯科 | 5 | 1.6% |
| 小児歯科 | 5 | 1.6% |
| 歯科口腔外科 | 14 | 4.6% |
| 麻酔科 | 66 | 21.6% |
| その他 | 6 | 2.0% |
| 計 | 305 | 100.0% |

・ 病院の職員数

1. 職種別職員数

100床当たり医師数 回答数

| | 前回(2004年3月) | | | 今回(2005年1月) | | |
|----------|-------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|
| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 |
| 3人未満 | 0 | 5 | 13 | 3 | 12 | 15 |
| 3～6人 | 11 | 37 | 22 | 16 | 50 | 37 |
| 6～10人 | 49 | 11 | 1 | 55 | 19 | 0 |
| 10～15人 | 29 | 3 | 0 | 45 | 4 | 0 |
| 15人以上 | 24 | 0 | 0 | 34 | 1 | 1 |
| 計 | 113 | 56 | 36 | 153 | 86 | 53 |
| 平均値(人) | 11.0 | 5.1 | 3.5 | 13.0 | 5.5 | 4.0 |

100床当たり医師数 構成比

| | 前回(2004年3月) | | | 今回(2005年1月) | | |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 |
| 3人未満 | 0.0% | 8.9% | 36.1% | 2.0% | 14.0% | 28.3% |
| 3～6人 | 9.7% | 66.1% | 61.1% | 10.5% | 58.1% | 69.8% |
| 6～10人 | 43.4% | 19.6% | 2.8% | 35.9% | 22.1% | 0.0% |
| 10～15人 | 25.7% | 5.4% | 0.0% | 29.4% | 4.7% | 0.0% |
| 15人以上 | 21.2% | 0.0% | 0.0% | 22.2% | 1.2% | 1.9% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

100床当たり看護職員(看護師・准看護師・看護補助者)数 回答数

| | 前回(2004年3月) | | | 今回(2005年1月) | | |
|----------|-------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|
| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 |
| 30人未満 | 2 | 5 | 1 | 2 | 0 | 2 |
| 30～50人 | 14 | 10 | 28 | 21 | 26 | 41 |
| 50～60人 | 27 | 20 | 5 | 34 | 30 | 7 |
| 60～70人 | 36 | 14 | 1 | 44 | 21 | 1 |
| 70人以上 | 34 | 7 | 0 | 53 | 10 | 2 |
| 計 | 113 | 56 | 35 | 154 | 87 | 53 |
| 平均値(人) | 64.9 | 54.8 | 45.0 | 66.6 | 57.2 | 46.8 |

100床当たり看護職員(看護師・准看護師・看護補助者)数 構成比

| | 前回(2004年3月) | | | 今回(2005年1月) | | |
|----------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 |
| 30人未満 | 1.8% | 8.9% | 2.9% | 1.3% | 0.0% | 3.8% |
| 30～50人 | 12.4% | 17.9% | 80.0% | 13.6% | 29.9% | 77.4% |
| 50～60人 | 23.9% | 35.7% | 14.3% | 22.1% | 34.5% | 13.2% |
| 60～70人 | 31.9% | 25.0% | 2.9% | 28.6% | 24.1% | 1.9% |
| 70人以上 | 30.1% | 12.5% | 0.0% | 34.4% | 11.5% | 3.8% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

介護福祉士のいる病院

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|
| 回答数 | 44 | 55 | 15 | 114 |
| 比率 | 27.5% | 61.1% | 27.3% | 37.4% |
| 100床当たり介護福祉士数(人) | 4.3 | 6.3 | 1.9 | 4.9 |

*比率は、回答数に対する介護福祉士のいる病院の比率

保健師・助産師のいる病院

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|--------------------|-------|-------|------|-------|
| 回答数 | 49 | 11 | 4 | 64 |
| 比率 | 30.6% | 12.2% | 7.3% | 21.0% |
| 100床当たり保健師・助産師数(人) | 5.5 | 2.2 | 0.9 | 4.6 |

*比率は、回答数に対する保健師・助産師のいる病院の比率

2. 看護師長および主任の人数

100床当たり看護師長数

| | 平均値(人) | 回答数 |
|-----------|------------|------------|
| 一般病院 | 3.3 | 153 |
| 療養病院 | 2.5 | 87 |
| 精神病院 | 2.1 | 54 |
| 全体 | 2.9 | 294 |

看護師長の資格 構成比

| | 看護師 | 准看護師 | その他 | 計 | 回答数 |
|-----------|--------------|-------------|-------------|---------------|------------|
| 一般病院 | 98.3% | 1.4% | 0.3% | 100.0% | 153 |
| 療養病院 | 93.7% | 6.1% | 0.3% | 100.0% | 86 |
| 精神病院 | 98.5% | 1.5% | 0.0% | 100.0% | 54 |
| 全体 | 97.0% | 2.8% | 0.3% | 100.0% | 293 |

100床当たり主任数

| | 平均値(人) | 回答数 |
|-----------|------------|------------|
| 一般病院 | 4.4 | 146 |
| 療養病院 | 3.0 | 82 |
| 精神病院 | 2.2 | 53 |
| 全体 | 3.6 | 281 |

主任の資格 構成比

| | 看護師 | 准看護師 | その他 | 計 | 回答数 |
|-----------|--------------|--------------|-------------|---------------|------------|
| 一般病院 | 88.2% | 11.1% | 0.7% | 100.0% | 146 |
| 療養病院 | 80.4% | 18.2% | 1.4% | 100.0% | 82 |
| 精神病院 | 86.1% | 13.1% | 0.8% | 100.0% | 53 |
| 全体 | 86.1% | 13.1% | 0.8% | 100.0% | 281 |

看護師長の部下の人数

| | 平均値(人) | 回答数 |
|-----------|-------------|------------|
| 一般病院 | 24.5 | 153 |
| 療養病院 | 32.7 | 87 |
| 精神病院 | 32.3 | 54 |
| 全体 | 28.3 | 294 |

主任の部下の人数

| | 平均値(人) | 回答数 |
|-----------|-------------|------------|
| 一般病院 | 19.0 | 145 |
| 療養病院 | 25.0 | 82 |
| 精神病院 | 25.5 | 53 |
| 全体 | 22.0 | 280 |

-1. 【病院長への質問】新規採用の際、「看護師何名、准看護師何名」のように採用枠を区分しておられますか？

回答数

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|---------|------|------|------|-----|
| 区分している | 103 | 50 | 31 | 184 |
| 区分していない | 55 | 39 | 23 | 117 |
| 計 | 158 | 89 | 54 | 301 |

構成比

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 区分している | 65.2% | 56.2% | 57.4% | 61.1% |
| 区分していない | 34.8% | 43.8% | 42.6% | 38.9% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

-2. 【病院長への質問】看護師・准看護師のどちらを多く採用されたいですか？

回答数

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|--------------|------|------|------|-----|
| 看護師を多く採用したい | 131 | 51 | 32 | 214 |
| 准看護師を多く採用したい | 6 | 14 | 6 | 26 |
| こだわらない | 18 | 25 | 16 | 59 |
| 計 | 155 | 90 | 54 | 299 |

構成比

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|--------------|--------|--------|--------|--------|
| 看護師を多く採用したい | 84.5% | 56.7% | 59.3% | 71.6% |
| 准看護師を多く採用したい | 3.9% | 15.6% | 11.1% | 8.7% |
| こだわらない | 11.6% | 27.8% | 29.6% | 19.7% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

-3. 【病院長への質問】准看護師を多く採用したい理由は何ですか？

(複数回答)

| | 回答数 | 比率* |
|-----------------------|-----|-------|
| 業務上期待するスペックにより合致するから | 13 | 50.0% |
| 人件費を安く抑えられるから | 20 | 76.9% |
| 准看護師の方が応募が多く選択肢が広がるから | 12 | 46.2% |
| 若い人材が集まりやすいから | 10 | 38.5% |
| その他 | 0 | 0.0% |

*比率:准看護師を多く採用したいと答えた病院に対する比率

-2. 【病院長への質問】看護師・准看護師のどちらを多く採用されたいですか？（病床規模別）

回答数

| | | 看護師 | こだわらない | 准看護師 | 計 |
|----------|------|-----|--------|------|-----|
| 99床以下 | 一般病院 | 46 | 10 | 4 | 60 |
| | 療養病院 | 14 | 9 | 8 | 31 |
| | 精神病院 | 3 | 0 | 0 | 3 |
| | 計 | 63 | 19 | 12 | 94 |
| 100～199床 | 一般病院 | 39 | 6 | 1 | 46 |
| | 療養病院 | 25 | 13 | 3 | 41 |
| | 精神病院 | 6 | 6 | 1 | 13 |
| | 計 | 70 | 25 | 5 | 100 |
| 200床以上 | 一般病院 | 46 | 2 | 1 | 49 |
| | 療養病院 | 12 | 3 | 3 | 18 |
| | 精神病院 | 23 | 10 | 5 | 38 |
| | 計 | 81 | 15 | 9 | 105 |

構成比

| | | 看護師 | こだわらない | 准看護師 | 計 | (再掲)こだわらない+准看護師 |
|----------|------|--------|--------|-------|--------|-----------------|
| 99床以下 | 一般病院 | 76.7% | 16.7% | 6.7% | 100.0% | 23.3% |
| | 療養病院 | 45.2% | 29.0% | 25.8% | 100.0% | 54.8% |
| | 精神病院 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 0.0% |
| | 計 | 67.0% | 20.2% | 12.8% | 100.0% | 33.0% |
| 100～199床 | 一般病院 | 84.8% | 13.0% | 2.2% | 100.0% | 15.2% |
| | 療養病院 | 61.0% | 31.7% | 7.3% | 100.0% | 39.0% |
| | 精神病院 | 46.2% | 46.2% | 7.7% | 100.0% | 53.8% |
| | 計 | 70.0% | 25.0% | 5.0% | 100.0% | 30.0% |
| 200床以上 | 一般病院 | 93.9% | 4.1% | 2.0% | 100.0% | 6.1% |
| | 療養病院 | 66.7% | 16.7% | 16.7% | 100.0% | 33.3% |
| | 精神病院 | 60.5% | 26.3% | 13.2% | 100.0% | 39.5% |
| | 計 | 77.1% | 14.3% | 8.6% | 100.0% | 22.9% |

-1. 【病院長への質問】看護師と准看護師との間で差をつけていますか？

回答数

| | 看護師の方が高いまたは速い、多い | 差はない | 准看護師の方が高いまたは速い、多い | 計 | 回答なし |
|----------------|------------------|------|-------------------|-----|------|
| 給与水準(「同年齢のとき」) | 286 | 12 | 1 | 299 | 6 |
| 昇進・昇格のスピード | 218 | 78 | 0 | 296 | 9 |
| 業務内容の高度さ | 198 | 98 | 0 | 296 | 9 |
| 教育・研修の機会 | 78 | 221 | 0 | 299 | 6 |

構成比

| | 看護師の方が高いまたは速い、多い | 差はない | 准看護師の方が高いまたは速い、多い | 計 |
|----------------|------------------|-------|-------------------|--------|
| 給与水準(「同年齢のとき」) | 95.7% | 4.0% | 0.3% | 100.0% |
| 昇進・昇格のスピード | 73.6% | 26.4% | 0.0% | 100.0% |
| 業務内容の高度さ | 66.9% | 33.1% | 0.0% | 100.0% |
| 教育・研修の機会 | 26.1% | 73.9% | 0.0% | 100.0% |

能力の差ではなく、実際にまかせている業務がより高度かどうか

(再掲)昇進・昇格のスピード 回答数

| | 看護師の方が速い | 差はない | 准看護師の方が速い | 計 |
|----------|----------|------|-----------|-----|
| 99床以下 | 54 | 36 | 0 | 90 |
| 100～199床 | 78 | 22 | 0 | 100 |
| 200床以上 | 86 | 20 | 0 | 106 |

(再掲)昇進・昇格のスピード 構成比

| | 看護師の方が速い | 差はない | 准看護師の方が速い | 計 |
|----------|----------|-------|-----------|--------|
| 99床以下 | 60.0% | 40.0% | 0.0% | 100.0% |
| 100～199床 | 78.0% | 22.0% | 0.0% | 100.0% |
| 200床以上 | 81.1% | 18.9% | 0.0% | 100.0% |

-2. 【病院長への質問】看護師と准看護師との間に差があると思われますか？

回答数

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 | 回答なし |
|-------------------|----------|------|-----------|-----|------|
| 定常的な業務遂行能力 | 167 | 122 | 1 | 290 | 15 |
| トラブル、アクシデントへの対応能力 | 183 | 108 | 1 | 292 | 13 |
| 部下を教育する能力 | 246 | 45 | 1 | 292 | 13 |
| 自己啓発の意欲 | 157 | 135 | 1 | 293 | 12 |
| 勤務態度、接遇態度 | 57 | 234 | 1 | 292 | 13 |

構成比

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|-------------------|----------|-------|-----------|--------|
| 定常的な業務遂行能力 | 57.6% | 42.1% | 0.3% | 100.0% |
| トラブル、アクシデントへの対応能力 | 62.7% | 37.0% | 0.3% | 100.0% |
| 部下を教育する能力 | 84.2% | 15.4% | 0.3% | 100.0% |
| 自己啓発の意欲 | 53.6% | 46.1% | 0.3% | 100.0% |
| 勤務態度、接遇態度 | 19.5% | 80.1% | 0.3% | 100.0% |

(再掲)自己啓発の意欲 回答数

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|------|----------|------|-----------|-----|
| 一般病院 | 96 | 54 | 0 | 150 |
| 療養病院 | 39 | 50 | 0 | 89 |
| 精神病院 | 22 | 31 | 1 | 54 |
| 全体 | 157 | 135 | 1 | 293 |

(再掲)自己啓発の意欲 構成比

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|------|----------|-------|-----------|--------|
| 一般病院 | 64.0% | 36.0% | 0.0% | 100.0% |
| 療養病院 | 43.8% | 56.2% | 0.0% | 100.0% |
| 精神病院 | 40.7% | 57.4% | 1.9% | 100.0% |
| 全体 | 53.6% | 46.1% | 0.3% | 100.0% |

(再掲)トラブル、アクシデントへの対応能力 回答数

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|------|-----------|-----|
| 99床以下 | 44 | 45 | 1 | 90 |
| 100～199床 | 65 | 36 | 0 | 101 |
| 200床以上 | 74 | 27 | 0 | 101 |

(再掲)トラブル、アクシデントへの対応能力 構成比

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|-------|-----------|--------|
| 99床以下 | 48.9% | 50.0% | 1.1% | 100.0% |
| 100～199床 | 64.4% | 35.6% | 0.0% | 100.0% |
| 200床以上 | 73.3% | 26.7% | 0.0% | 100.0% |

-3. 【病院長への質問】准看護師資格の存続についてどのようにお考えですか？

回答数

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|------------------------|------|------|------|-----|
| 看護師とは異なる役割があるので存続させるべき | 31 | 21 | 13 | 65 |
| 看護師資格に統合しても良い | 56 | 28 | 13 | 97 |
| 看護師資格を統合すべき | 45 | 18 | 9 | 72 |
| どちらともいえない | 11 | 19 | 19 | 49 |
| 計 | 143 | 86 | 54 | 283 |

構成比

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 看護師とは異なる役割があるので存続させるべき | 21.7% | 24.4% | 24.1% | 23.0% |
| 看護師資格に統合しても良い | 39.2% | 32.6% | 24.1% | 34.3% |
| 看護師資格を統合すべき | 31.5% | 20.9% | 16.7% | 25.4% |
| どちらともいえない | 7.7% | 22.1% | 35.2% | 17.3% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

(院長と看護部長の両方が回答した病院を抽出) 回答数

| | | 看護部長の意見 | | | | 計 |
|-------|------------------------|---------|---------|-------|-----------|-----|
| | | 存続させるべき | 統合しても良い | 統合すべき | どちらともいえない | |
| 院長の意見 | 看護師とは異なる役割があるので存続させるべき | 16 | 19 | 19 | 11 | 65 |
| | 看護師資格に統合しても良い | 6 | 40 | 36 | 15 | 97 |
| | 看護師資格を統合すべき | 4 | 9 | 53 | 6 | 72 |
| | どちらともいえない | 3 | 10 | 12 | 24 | 49 |
| | 計 | 29 | 78 | 120 | 56 | 283 |

(院長と看護部長の両方が回答した病院を抽出) 構成比

| | | 看護部長の意見 | | | | 計 |
|-------|------------------------|---------|---------|-------|-----------|--------|
| | | 存続させるべき | 統合しても良い | 統合すべき | どちらともいえない | |
| 院長の意見 | 看護師とは異なる役割があるので存続させるべき | 5.7% | 6.7% | 6.7% | 3.9% | 23.0% |
| | 看護師資格に統合しても良い | 2.1% | 14.1% | 12.7% | 5.3% | 34.3% |
| | 看護師資格を統合すべき | 1.4% | 3.2% | 18.7% | 2.1% | 25.4% |
| | どちらともいえない | 1.1% | 3.5% | 4.2% | 8.5% | 17.3% |
| | 計 | 10.2% | 27.6% | 42.4% | 19.8% | 100.0% |

- 1~3 . 【看護部長への質問】あなたのプロフィールについてお聞かせください。

| 項目 | 区分 | 回答数 | |
|----|--------|-----|--------|
| | | 回答数 | 構成比 |
| 年齢 | 29歳以下 | 1 | 0.3% |
| | 30～39歳 | 8 | 2.7% |
| | 40～49歳 | 56 | 18.8% |
| | 50～59歳 | 176 | 59.1% |
| | 60歳以上 | 57 | 19.1% |
| | 計 | 298 | 100.0% |
| | 回答なし | 1 | - |
| 性別 | 女 | 267 | 90.8% |
| | 男 | 27 | 9.2% |
| | 計 | 294 | 100.0% |
| | 回答なし | 5 | - |
| 資格 | 看護師 | 281 | 94.0% |
| | 准看護師 | 8 | 2.7% |
| | 助産師 | 4 | 1.3% |
| | 複合 | 6 | 2.0% |
| | 計 | 299 | 100.0% |
| | 回答なし | 0 | - |

複数の資格があるケース

- 4 . 【看護部長への質問】あなたの学歴について教えてください。

| 資格 | 学歴 | 回答数 | 構成比 |
|---------|----------------------------------|-------|--------|
| 看護師 | 中学 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 2年課程 看護師 | 26 | 8.7% |
| | 高校 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 2年課程 看護師 | 72 | 24.2% |
| | 短大・大学 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 2年課程 看護師 | 3 | 1.0% |
| | 中学 高等学校専攻科一貫教育校5年課程 看護師 | 2 | 0.7% |
| | 高校 高等学校専攻科一貫教育校5年課程 看護師 | 6 | 2.0% |
| | 短大・大学 高等学校専攻科一貫教育校5年課程 看護師 | 1 | 0.3% |
| | 高校 3年課程 看護師 | 135 | 45.3% |
| | 短大・大学 3年課程 看護師 | 3 | 1.0% |
| | 短大もしくは4年制大学の看護学科 看護師 | 4 | 1.3% |
| その他 看護師 | 32 | 10.7% | |
| 准看護師 | 中学 准看護師養成所 准看護師 | 1 | 0.3% |
| | 高校 准看護師養成所・高等学校衛生看護科 准看護師 | 6 | 2.0% |
| 助産師・保健師 | 准看護師 2年課程 助産師学校・保健師学校 助産師・保健師 | 1 | 0.3% |
| | 看護師3年課程 助産師学校・保健師学校 助産師・保健師 | 6 | 2.0% |
| 計 | | 298 | 100.0% |
| 回答なし | | 1 | - |

- 1. 【看護部長への質問】現在の勤務先への勤続年数は何年ですか？

| | 回答数 | |
|------------|-----|--------|
| | 回答数 | 構成比 |
| 5年未満 | 54 | 18.2% |
| 5年以上10年未満 | 39 | 13.2% |
| 10年以上15年未満 | 49 | 16.6% |
| 15年以上20年未満 | 45 | 15.2% |
| 20年以上25年未満 | 34 | 11.5% |
| 25年以上30年未満 | 28 | 9.5% |
| 30年以上 | 47 | 15.9% |
| 計 | 296 | 100.0% |
| 回答なし | 3 | - |

- 2. 【看護部長への質問】看護職についてから現在の職場はいくつ目の職場ですか？

回答数

| | 1つ目 | 2つ目 | 3つ目 | 4つ目 | 5つ目 | 6つ目以上 | 計 |
|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-----|
| 29歳以下 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 30～39歳 | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 8 |
| 40～49歳 | 6 | 14 | 21 | 8 | 3 | 3 | 55 |
| 50～59歳 | 27 | 44 | 46 | 25 | 15 | 17 | 174 |
| 60歳以上 | 1 | 13 | 17 | 15 | 6 | 5 | 57 |
| 計 | 39 | 73 | 85 | 49 | 24 | 25 | 295 |

構成比

| | 1つ目 | 2つ目 | 3つ目 | 4つ目 | 5つ目 | 6つ目以上 | 計 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 29歳以下 | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 30～39歳 | 50.0% | 25.0% | 12.5% | 12.5% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 40～49歳 | 10.9% | 25.5% | 38.2% | 14.5% | 5.5% | 5.5% | 100.0% |
| 50～59歳 | 15.5% | 25.3% | 26.4% | 14.4% | 8.6% | 9.8% | 100.0% |
| 60歳以上 | 1.8% | 22.8% | 29.8% | 26.3% | 10.5% | 8.8% | 100.0% |
| 計 | 13.2% | 24.7% | 28.8% | 16.6% | 8.1% | 8.5% | 100.0% |

- 3. 【看護部長への質問】退職されたときの理由は何ですか？次の
 転職先を決めた理由は何ですか？

(複数回答)

| | 退職理由 | | 転職理由 | |
|-------------------------|------|-------|------|-------|
| | 回答数 | 比率* | 回答数 | 比率* |
| 仕事のやりがい | 52 | 23.6% | 93 | 46.7% |
| 勤務条件（残業、夜勤、福利厚生） | 25 | 11.4% | 36 | 18.1% |
| 待遇（昇給、昇格、給与、賞与） | 13 | 5.9% | 22 | 11.1% |
| 職場の人間関係 | 27 | 12.3% | 13 | 6.5% |
| 職場の経営状態（安定性・将来性など） | 8 | 3.6% | 27 | 13.6% |
| 家庭の事情（結婚、出産、子供の就学、夫の転勤） | 147 | 66.8% | 33 | 16.6% |
| 通勤の便 | 24 | 10.9% | 86 | 43.2% |
| 職場からの退職勧告 | - | - | - | - |
| その他 | 35 | 15.9% | 27 | 13.6% |
| 回答者数 | 220 | - | 199 | - |

*比率は理由を回答した人数に対する比率

- 3. 【看護部長への質問】退職されたときの理由は何ですか？次の転職先を決めた理由は何ですか？

回答数 有効回答数 193 (退職理由・転職理由の両方に回答した人)

| | 転職理由 | | | | | | | | | 有効回答数 |
|------|-------------------------|------|----|---------|---------|-------|------|-----|----|-------|
| | 仕事のやりがい | 勤務条件 | 待遇 | 職場の人間関係 | 職場の経営状態 | 家庭の事情 | 通勤の便 | その他 | | |
| 退職理由 | 仕事のやりがい | 34 | 7 | 9 | 3 | 8 | 8 | 15 | 2 | 45 |
| | 勤務条件（残業、夜勤、福利厚生） | 9 | 11 | 5 | 1 | 1 | 5 | 10 | 1 | 21 |
| | 待遇（昇給、昇格、給与、賞与） | 8 | 2 | 5 | 0 | 2 | 3 | 4 | 0 | 11 |
| | 職場の人間関係 | 16 | 5 | 4 | 5 | 3 | 3 | 11 | 2 | 26 |
| | 職場の経営状態（安定性・将来性など） | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 1 | 7 |
| | 家庭の事情（結婚、出産、子供の就学、夫の転勤） | 55 | 29 | 16 | 8 | 18 | 28 | 68 | 11 | 126 |
| | 通勤の便 | 11 | 6 | 2 | 0 | 1 | 5 | 16 | 0 | 20 |
| | その他 | 14 | 1 | 2 | 0 | 5 | 1 | 12 | 14 | 32 |
| | 有効回答数 | 90 | 36 | 22 | 12 | 27 | 30 | 84 | 27 | - |

有効回答数に対する比率

| | 転職理由 | | | | | | | | | 計 |
|------|-------------------------|-------|-------|---------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 仕事のやりがい | 勤務条件 | 待遇 | 職場の人間関係 | 職場の経営状態 | 家庭の事情 | 通勤の便 | その他 | | |
| 退職理由 | 仕事のやりがい | 75.6% | 15.6% | 20.0% | 6.7% | 17.8% | 17.8% | 33.3% | 4.4% | 100.0% |
| | 勤務条件（残業、夜勤、福利厚生） | 42.9% | 52.4% | 23.8% | 4.8% | 4.8% | 23.8% | 47.6% | 4.8% | 100.0% |
| | 待遇（昇給、昇格、給与、賞与） | 72.7% | 18.2% | 45.5% | 0.0% | 18.2% | 27.3% | 36.4% | 0.0% | 100.0% |
| | 職場の人間関係 | 61.5% | 19.2% | 15.4% | 19.2% | 11.5% | 11.5% | 42.3% | 7.7% | 100.0% |
| | 職場の経営状態（安定性・将来性など） | 57.1% | 14.3% | 28.6% | 14.3% | 28.6% | 28.6% | 42.9% | 14.3% | 100.0% |
| | 家庭の事情（結婚、出産、子供の就学、夫の転勤） | 43.7% | 23.0% | 12.7% | 6.3% | 14.3% | 22.2% | 54.0% | 8.7% | 100.0% |
| | 通勤の便 | 55.0% | 30.0% | 10.0% | 0.0% | 5.0% | 25.0% | 80.0% | 0.0% | 100.0% |
| | その他 | 43.8% | 3.1% | 6.3% | 0.0% | 15.6% | 3.1% | 37.5% | 43.8% | 100.0% |

- 1. 【看護部長への質問】 部下に看護師の方も准看護師の方もいらっしゃいますか？

| | 回答数 | |
|-------------|-----|--------|
| | 回答数 | 構成比 |
| 看護師のみ | 6 | 2.0% |
| 准看護師のみ | 2 | 0.7% |
| 看護師も准看護師もいる | 291 | 97.3% |
| 計 | 299 | 100.0% |

- 2. 【看護部長への質問】 知識や業務遂行能力について看護師と准看護師との間に、差があると思われませんか？

回答数

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 | 回答なし |
|-----------------------------|----------|------|-----------|-----|------|
| 日常生活の援助能力(清潔援助、食事介助、移動援助など) | 75 | 217 | 3 | 295 | 4 |
| 診療の援助能力(測定、検査、治療の補助など) | 140 | 157 | | 297 | 2 |
| 看護計画の立案や看護記録能力(きちんと作成できるか) | 274 | 22 | | 296 | 3 |
| 患者さんや家族への説明能力・コミュニケーション能力 | 169 | 121 | 3 | 293 | 6 |
| 医師・看護師間のコミュニケーション能力 | 136 | 155 | 1 | 292 | 7 |
| 医学・看護の知識 | 278 | 17 | 1 | 296 | 3 |
| 医療保険・介護保険等の制度に関する知識 | 144 | 152 | 1 | 297 | 2 |
| 部下の教育能力 | 248 | 47 | 1 | 296 | 3 |
| 業務全般への取り組み姿勢(熱心さ) | 127 | 169 | 1 | 297 | 2 |

構成比

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|-----------------------------|----------|-------|-----------|--------|
| 日常生活の援助能力(清潔援助、食事介助、移動援助など) | 25.4% | 73.6% | 1.0% | 100.0% |
| 診療の援助能力(測定、検査、治療の補助など) | 47.1% | 52.9% | 0.0% | 100.0% |
| 看護計画の立案や看護記録能力(きちんと作成できるか) | 92.6% | 7.4% | 0.0% | 100.0% |
| 患者さんや家族への説明能力・コミュニケーション能力 | 57.7% | 41.3% | 1.0% | 100.0% |
| 医師・看護師間のコミュニケーション能力 | 46.6% | 53.1% | 0.3% | 100.0% |
| 医学・看護の知識 | 93.9% | 5.7% | 0.3% | 100.0% |
| 医療保険・介護保険等の制度に関する知識 | 48.5% | 51.2% | 0.3% | 100.0% |
| 部下の教育能力 | 83.8% | 15.9% | 0.3% | 100.0% |
| 業務全般への取り組み姿勢(熱心さ) | 42.8% | 56.9% | 0.3% | 100.0% |

(再掲)医学・看護の知識 回答数

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|------|-----------|-----|
| 99床以下 | 76 | 12 | 1 | 89 |
| 100～199床 | 97 | 4 | 0 | 101 |
| 200床以上 | 105 | 1 | 0 | 106 |

(再掲)医学・看護の知識 構成比

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|-------|-----------|--------|
| 99床以下 | 85.4% | 13.5% | 1.1% | 100.0% |
| 100～199床 | 96.0% | 4.0% | 0.0% | 100.0% |
| 200床以上 | 99.1% | 0.9% | 0.0% | 100.0% |

(再掲)看護計画の立案や看護記録能力 回答数

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|------|-----------|-----|
| 99床以下 | 74 | 14 | 0 | 88 |
| 100～199床 | 96 | 5 | 0 | 101 |
| 200床以上 | 104 | 3 | 0 | 107 |

(再掲)看護計画の立案や看護記録能力 構成比

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|-------|-----------|--------|
| 99床以下 | 84.1% | 15.9% | 0.0% | 100.0% |
| 100～199床 | 95.0% | 5.0% | 0.0% | 100.0% |
| 200床以上 | 97.2% | 2.8% | 0.0% | 100.0% |

(再掲)部下の教育能力 回答数

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|------|-----------|-----|
| 99床以下 | 64 | 24 | 1 | 89 |
| 100～199床 | 87 | 14 | 0 | 101 |
| 200床以上 | 97 | 9 | 0 | 106 |

(再掲)部下の教育能力 構成比

| | 看護師の方が高い | 差はない | 准看護師の方が高い | 計 |
|----------|----------|-------|-----------|--------|
| 99床以下 | 71.9% | 27.0% | 1.1% | 100.0% |
| 100～199床 | 86.1% | 13.9% | 0.0% | 100.0% |
| 200床以上 | 91.5% | 8.5% | 0.0% | 100.0% |

-1. 【看護部長への質問】看護師と准看護師との間に差がありますか？

回答数

| | 看護師の方が高いまたは速い、多い | 差はない | 准看護師の方が高いまたは速い、多い | 計 | 回答なし |
|----------------|------------------|------|-------------------|-----|------|
| 給与水準(「同年齢のとき」) | 267 | 21 | 2 | 290 | 7 |
| 昇進・昇格のスピード | 228 | 60 | 0 | 288 | 8 |
| 業務内容の高度さ | 169 | 120 | 0 | 289 | 6 |
| 教育・研修の機会 | 103 | 187 | 0 | 290 | 6 |

構成比

| | 看護師の方が高いまたは速い、多い | 差はない | 准看護師の方が高いまたは速い、多い | 計 |
|----------------|------------------|-------|-------------------|--------|
| 給与水準(「同年齢のとき」) | 92.1% | 7.2% | 0.7% | 100.0% |
| 昇進・昇格のスピード | 79.2% | 20.8% | 0.0% | 100.0% |
| 業務内容の高度さ | 58.5% | 41.5% | 0.0% | 100.0% |
| 教育・研修の機会 | 35.5% | 64.5% | 0.0% | 100.0% |

能力の差ではなく、実際にまかせている業務がより高度かどうか

-2. 【看護部長への質問】今後(も)、差をつけるべきであると思われませんか？

回答数

| | 差をつけるべきである | 差をつけるべきではない | わからない | 計 | 回答なし |
|----------------|------------|-------------|-------|-----|------|
| 給与水準(「同年齢のとき」) | 262 | 6 | 22 | 290 | 8 |
| 昇進・昇格のスピード | 212 | 47 | 29 | 288 | 9 |
| 業務内容の高度さ | 171 | 94 | 24 | 289 | 10 |
| 教育・研修の機会 | 53 | 231 | 6 | 290 | 9 |

構成比

| | 差をつけるべきである | 差をつけるべきではない | わからない | 計 |
|----------------|------------|-------------|-------|--------|
| 給与水準(「同年齢のとき」) | 90.3% | 2.1% | 7.6% | 100.0% |
| 昇進・昇格のスピード | 73.6% | 16.3% | 10.1% | 100.0% |
| 業務内容の高度さ | 59.2% | 32.5% | 8.3% | 100.0% |
| 教育・研修の機会 | 18.3% | 79.7% | 2.1% | 100.0% |

能力の差ではなく、実際にまかせている業務がより高度かどうか

-1. 【看護部長への質問】看護師と准看護師との間に差がありますか？

(再掲) 給与水準(「同年齢のとき」) 回答数

| 現状 | 将来 | 差をつけるべきである | わからない | 差をつけるべきではない | 計 |
|-----------|----|------------|-------|-------------|-----|
| 看護師の方が高い | | 241 | 21 | 5 | 267 |
| 差はない | | 19 | 1 | 1 | 21 |
| 准看護師の方が高い | | 2 | 0 | 0 | 2 |

(再掲) 給与水準(「同年齢のとき」) 構成比

| 現状 | 将来 | 差をつけるべきである | わからない | 差をつけるべきではない | 計 |
|-----------|----|------------|-------|-------------|--------|
| 看護師の方が高い | | 90.3% | 7.9% | 1.9% | 100.0% |
| 差はない | | 90.5% | 4.8% | 4.8% | 100.0% |
| 准看護師の方が高い | | 100.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |

(再掲) 昇進・昇格のスピード 回答数

| 現状 | 将来 | 差をつけるべきである | わからない | 差をつけるべきではない | 計 |
|-----------|----|------------|-------|-------------|-----|
| 看護師の方が高い | | 189 | 22 | 17 | 228 |
| 差はない | | 23 | 7 | 30 | 60 |
| 准看護師の方が高い | | 0 | 0 | 0 | 0 |

(再掲) 昇進・昇格のスピード 構成比

| 現状 | 将来 | 差をつけるべきである | わからない | 差をつけるべきではない | 計 |
|-----------|----|------------|-------|-------------|--------|
| 看護師の方が高い | | 82.9% | 9.6% | 7.5% | 100.0% |
| 差はない | | 38.3% | 11.7% | 50.0% | 100.0% |
| 准看護師の方が高い | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

(再掲) 業務内容の高度さ 回答数

| 現状 | 将来 | 差をつけるべきである | わからない | 差をつけるべきではない | 計 |
|-----------|----|------------|-------|-------------|-----|
| 看護師の方が高い | | 126 | 9 | 34 | 169 |
| 差はない | | 45 | 15 | 60 | 120 |
| 准看護師の方が高い | | 0 | 0 | 0 | 0 |

(再掲) 業務内容の高度さ 構成比

| 現状 | 将来 | 差をつけるべきである | わからない | 差をつけるべきではない | 計 |
|-----------|----|------------|-------|-------------|--------|
| 看護師の方が高い | | 74.6% | 5.3% | 20.1% | 100.0% |
| 差はない | | 37.5% | 12.5% | 50.0% | 100.0% |
| 准看護師の方が高い | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

・【看護部長への質問】准看護師資格の存続についてどのようにお考えですか？

回答数

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|------------------------|------|------|------|-----|
| 看護師とは異なる役割があるので存続させるべき | 12 | 7 | 10 | 29 |
| 看護師資格に統合しても良い | 39 | 24 | 15 | 78 |
| 看護師資格を統合すべき | 73 | 36 | 11 | 120 |
| どちらともいえない | 19 | 19 | 18 | 56 |
| 計 | 143 | 86 | 54 | 283 |

構成比

| | 一般病院 | 療養病院 | 精神病院 | 計 |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 看護師とは異なる役割があるので存続させるべき | 8.4% | 8.1% | 18.5% | 10.2% |
| 看護師資格に統合しても良い | 27.3% | 27.9% | 27.8% | 27.6% |
| 看護師資格に統合すべき | 51.0% | 41.9% | 20.4% | 42.4% |
| どちらともいえない | 13.3% | 22.1% | 33.3% | 19.8% |
| 計 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |

- 1. 【看護部長への質問】自分より高学歴の部下がいますか？

| | 回答数 | |
|-------------|-----|--------|
| | 回答数 | 構成比 |
| いる(いたことがある) | 190 | 64.2% |
| いない | 90 | 30.4% |
| わからない | 16 | 5.4% |
| 計 | 296 | 100.0% |
| 回答なし | 3 | - |

- 2. 【看護部長への質問】自分より高学歴の部下に対し管理を行っていくと感じることがありますか？

「高学歴の部下がいる(いたことがある)」人のみ回答

| | 回答数 | |
|-----------|-----|--------|
| | 回答数 | 構成比 |
| 行いやすい | 72 | 37.9% |
| やや行いやすい | 38 | 20.0% |
| どちらともいえない | 76 | 40.0% |
| やや行いにくい | 3 | 1.6% |
| 行いにくい | 1 | 0.5% |
| 計 | 190 | 100.0% |

- 1. 【看護部長への質問】あなたの部下は院内・院外の教育研修に積極的に参加していますか？

| | 看護師の部下 | | 准看護師の部下 | |
|-----------------|--------|--------|---------|--------|
| | 回答数 | 構成比 | 回答数 | 構成比 |
| 積極的に参加している | 199 | 67.0% | 113 | 39.6% |
| あまり参加したがない | 31 | 10.4% | 91 | 31.9% |
| どちらともいえない | 63 | 21.2% | 72 | 25.3% |
| そもそも研修の機会があまりない | 4 | 1.3% | 9 | 3.2% |
| 計 | 297 | 100.0% | 285 | 100.0% |
| 回答なし | 2 | - | 14 | - |

(再掲)看護師と准看護師の比較 回答数

| | 准看護師の部下 | | | | 計 | |
|--------|-----------------|------------|-----------|-----------------|---|-----|
| | 積極的に参加している | あまり参加したがない | どちらともいえない | そもそも研修の機会があまりない | | |
| 看護師の部下 | 積極的に参加している | 110 | 52 | 23 | 4 | 189 |
| | あまり参加したがない | 2 | 28 | 0 | 0 | 30 |
| | どちらともいえない | 1 | 10 | 49 | 2 | 62 |
| | そもそも研修の機会があまりない | 0 | 1 | 0 | 3 | 4 |

(再掲)看護師と准看護師の比較 構成比

| | 准看護師の部下 | | | | 計 | |
|--------|-----------------|------------|-----------|-----------------|-------|--------|
| | 積極的に参加している | あまり参加したがない | どちらともいえない | そもそも研修の機会があまりない | | |
| 看護師の部下 | 積極的に参加している | 58.2% | 27.5% | 12.2% | 2.1% | 100.0% |
| | あまり参加したがない | 6.7% | 93.3% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| | どちらともいえない | 1.6% | 16.1% | 79.0% | 3.2% | 100.0% |
| | そもそも研修の機会があまりない | 0.0% | 25.0% | 0.0% | 75.0% | 100.0% |

- 2 . 【看護部長への質問】 あなたの部下は専門看護師資格の取得に前向きですか？

回答数

| | 前向き | 消極的 | どちらともいえない | 計 |
|------|-----|-----|-----------|-----|
| 一般病院 | 47 | 33 | 74 | 154 |
| 療養病院 | 6 | 34 | 49 | 89 |
| 精神病院 | 8 | 17 | 30 | 55 |
| 計 | 61 | 84 | 153 | 298 |

構成比

| | 前向き | 消極的 | どちらともいえない | 計 |
|------|-------|-------|-----------|--------|
| 一般病院 | 30.5% | 21.4% | 48.1% | 100.0% |
| 療養病院 | 6.7% | 38.2% | 55.1% | 100.0% |
| 精神病院 | 14.5% | 30.9% | 54.5% | 100.0% |
| 全体 | 20.5% | 28.2% | 51.3% | 100.0% |

- 3 . 【看護部長への質問】 准看護師の部下に、看護師または保健師・助産師資格を取得するよう勧めていますか？

回答数

| | かなり勧めている | ある程度は勧めている | 特に勧めていない | 計 |
|------|----------|------------|----------|-----|
| 一般病院 | 44 | 78 | 27 | 149 |
| 療養病院 | 27 | 40 | 21 | 88 |
| 精神病院 | 8 | 34 | 13 | 55 |
| 計 | 79 | 152 | 61 | 292 |

構成比

| | かなり勧めている | ある程度は勧めている | 特に勧めていない | 計 |
|------|----------|------------|----------|--------|
| 一般病院 | 29.5% | 52.3% | 18.1% | 100.0% |
| 療養病院 | 30.7% | 45.5% | 23.9% | 100.0% |
| 精神病院 | 14.5% | 61.8% | 23.6% | 100.0% |
| 全体 | 27.1% | 52.1% | 20.9% | 100.0% |